

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

< 第7週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向

< 1月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-13

< インフルエンザ >

第7週の定点当たり報告数は全国レベルで17.4であり、3週連続して減少した



病原体情報
P.14-17

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン



速報
P.18-20

腸チフス 2005年(2006年1月26日時点)



海外感染症情報
P.21-22

鳥インフルエンザの世界的拡大 / スーダン(赤道中央州)でのコレラ流行状況 / ナイジェリアでの鳥インフルエンザ状況 / インドでの鳥インフルエンザ状況 / インドネシアでの鳥インフルエンザ状況



感染症の話
P.23

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(7週)
P.24-30



グラフ総覧(1月)
P.31-35



1月のデータ
P.36-39



7週のデータ
P.40-51



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第7週コメント> 2月23日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:細菌性赤痢 8例

(推定感染地域:国内2例、インド2例、マレーシア/シンガポール1例、スリランカ1例、インドネシア1例、カンボジア1例)

腸チフス 1例(推定感染地域:不明)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 9例(うち有症者7例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(3例)、O157 VT2(2例)、O25 VT1(1例)、O26 VT1(1例)、O115 VT1(1例)、O128 VT2(1例)

4類感染症:デング熱 1例(推定感染地域:ベトナム)

レジオネラ症 8例(40代1例、50代3例、60代2例、70代1例、80代1例)

E型肝炎 1例(推定感染地域:インド)

A型肝炎 3例(推定感染地域:すべて国内)

5類感染症:アメーバ赤痢 4例(うち1例死亡)

推定感染地域:国内3例、タイ/中国1例

推定感染経路:経口1例、性的接触(異性間)象との接触1例、不明2例

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例(40代、50代、60代、うち1例死亡)

後天性免疫不全症候群 14例(無症候8例、AIDS 3例、その他3例)

推定感染経路:性的接触13例(異性間6例、同性間4例、異性間/同性間2例、不明1例)、感染者血液の傷口からの感染1例

推定感染地域:国内12例、タイ1例、中国/フィリピン1例

梅毒 5例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候1例)

破傷風 2例(50代1例、70代1例)

急性脳炎 3例

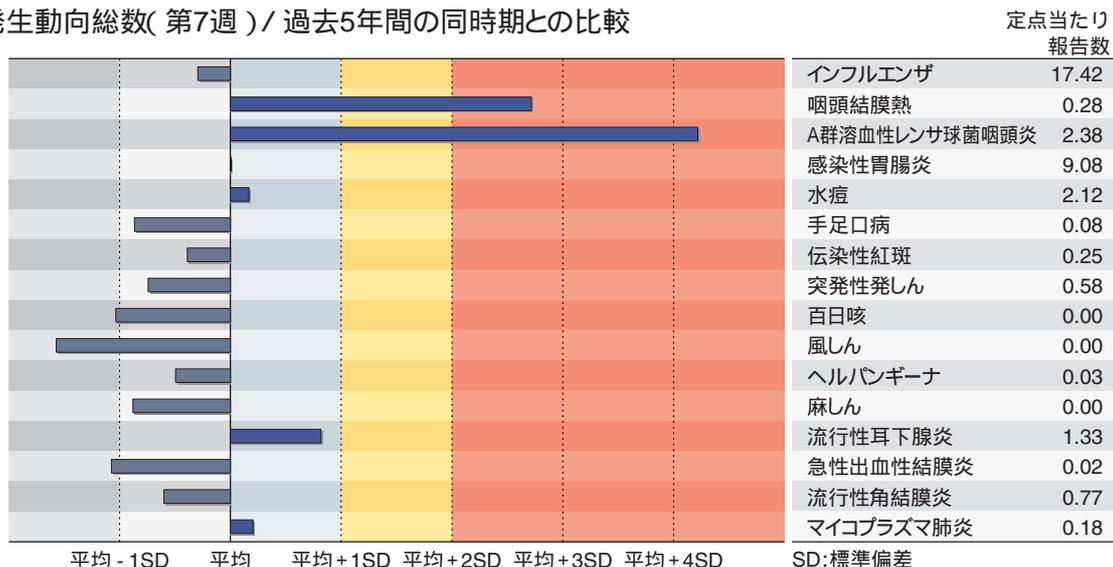
[A型インフルエンザウイルス2例(2歳、4歳)、肺炎球菌1例(50代)]

(補)他に、2005年分の報告遅れとして、レプトスピラ症2例(推定感染地域:ともに国内)、2006年分の報告遅れとして、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(60代、90代、うち1例死亡)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(推定感染地域:国内)、急性脳炎6例(A型インフルエンザウイルス3例(6歳2例、7歳1例)、病原体不明3例(8歳、10代、70代))などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第7週)/過去5年間の同時期との比較



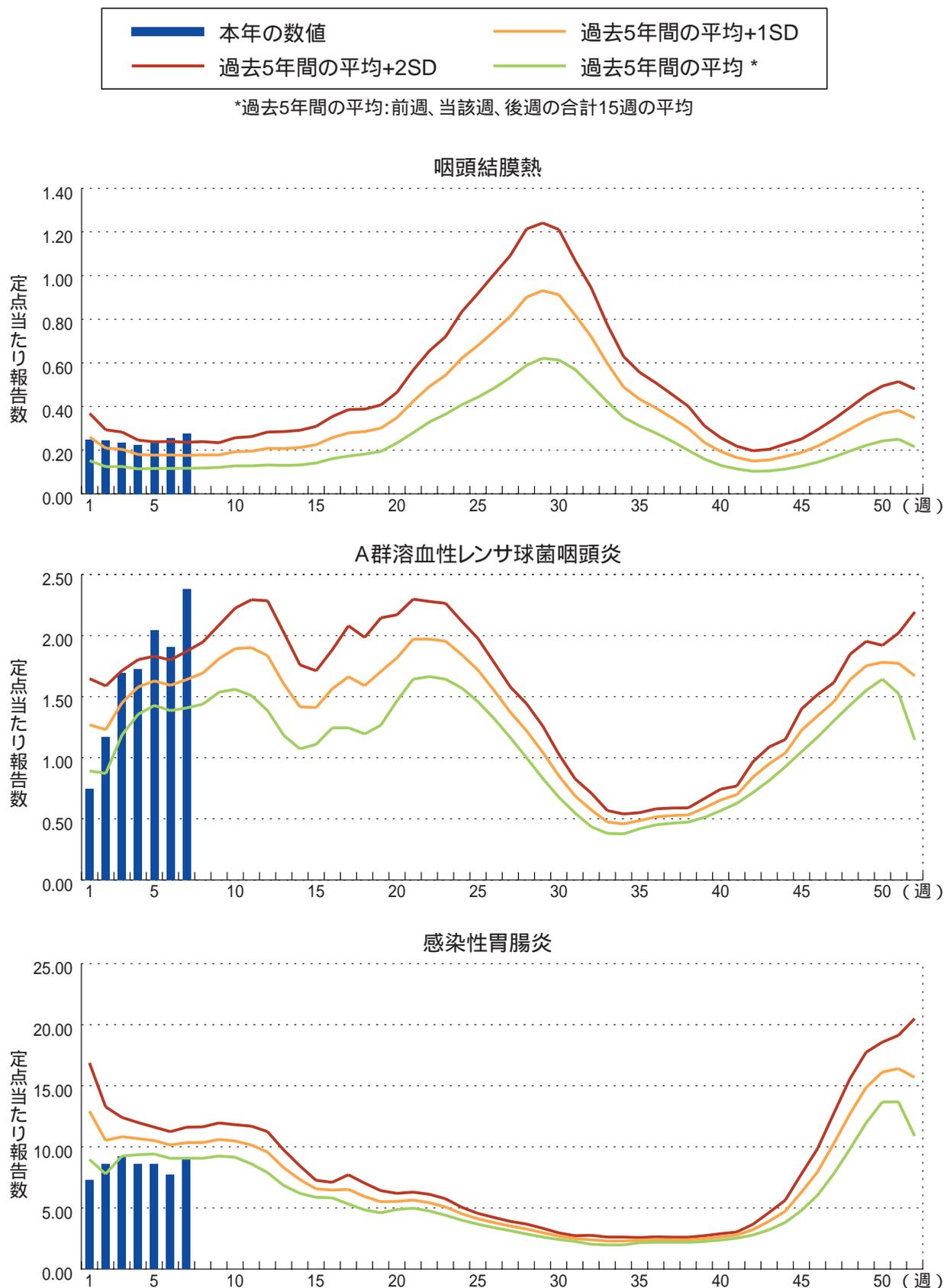
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続して減少した。都道府県別では長野県(37.4)、愛知県(36.7)、富山県(34.2)、高知県(31.6)、石川県(29.8)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県(1.09)、佐賀県(0.96)、福井県(0.91)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(6.3)、山形県(5.6)、石川県(4.5)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では愛媛県(17.8)、山口県(17.3)、宮崎県(16.5)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(4.5)、鳥取県(4.3)、福岡県(3.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では島根県(0.35)、福井県(0.32)、愛知県(0.30)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では青森県(1.23)、福島県(1.15)、鳥取県(0.79)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県(0.06)、広島県(0.04)、秋田県(0.03)、大分県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では滋賀県(0.03)、京都府(0.03)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では千葉県(0.01)、愛知県(0.01)、大阪府(0.01)、兵庫県(0.01)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(5.8)、鳥取県(4.1)、山形県(3.8)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて42都道府県から357例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では長崎県(1.00)、埼玉県(0.67)、大阪府(0.57)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1～7週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



1月コメント

性感染症について(2月14日集計分) 性感染症定点数: 916

2006年1月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.85(男1.21、女1.64)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.94(男0.39、女0.55)、尖圭コンジローマが0.59(男0.33、女0.26)、淋菌感染症が1.26(男1.07、女0.19)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べると、全体的にやや増加している(31～34ページ「グラフ総覧」参照)。過去5年間の同時期と比較すると、性器ヘルペスウイルス感染症が女性で平均+2標準偏差(SD)、男性で平均+1SDを超え、尖圭コンジローマが男性で平均+2SD、女性で平均+1SDを超えていた。一方、性器クラミジア感染症は男女共に平均-1SDを下回り、淋菌感染症も女性で平均-2SDを、男性で平均-1SDを下回っていた(図2)。

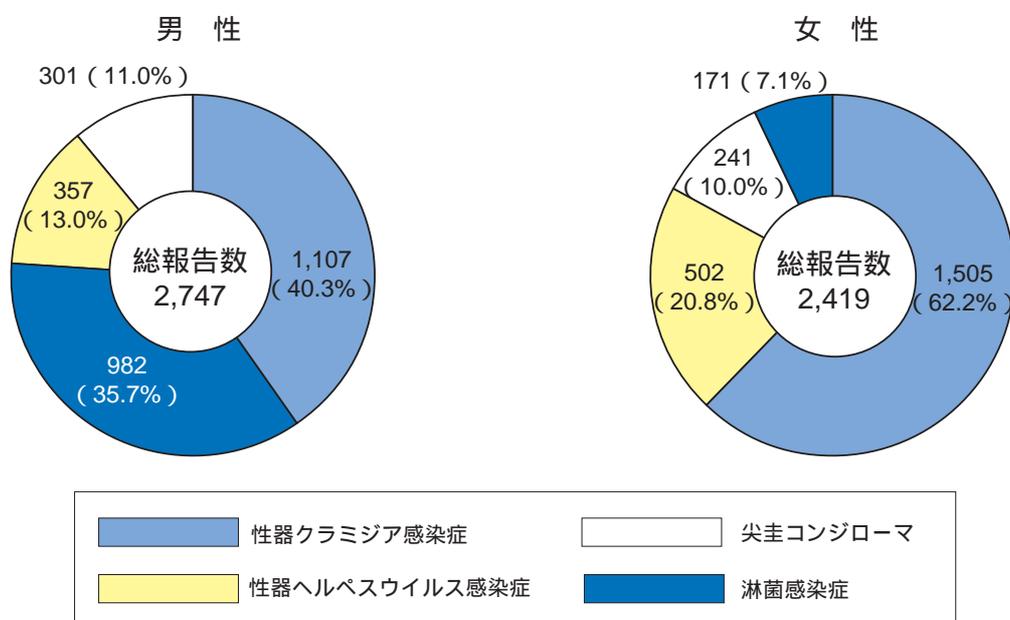
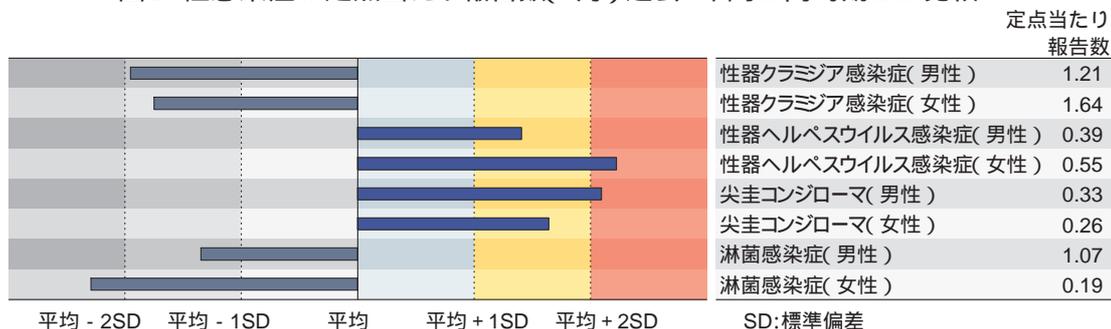


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(1月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(1月)過去5年間の同時期との比較



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフ上に表現した。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると、ピークは、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳、他の3疾患では20～29歳であった。性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図3)。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。前月に比べ、全体的にやや上昇している。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(1月)

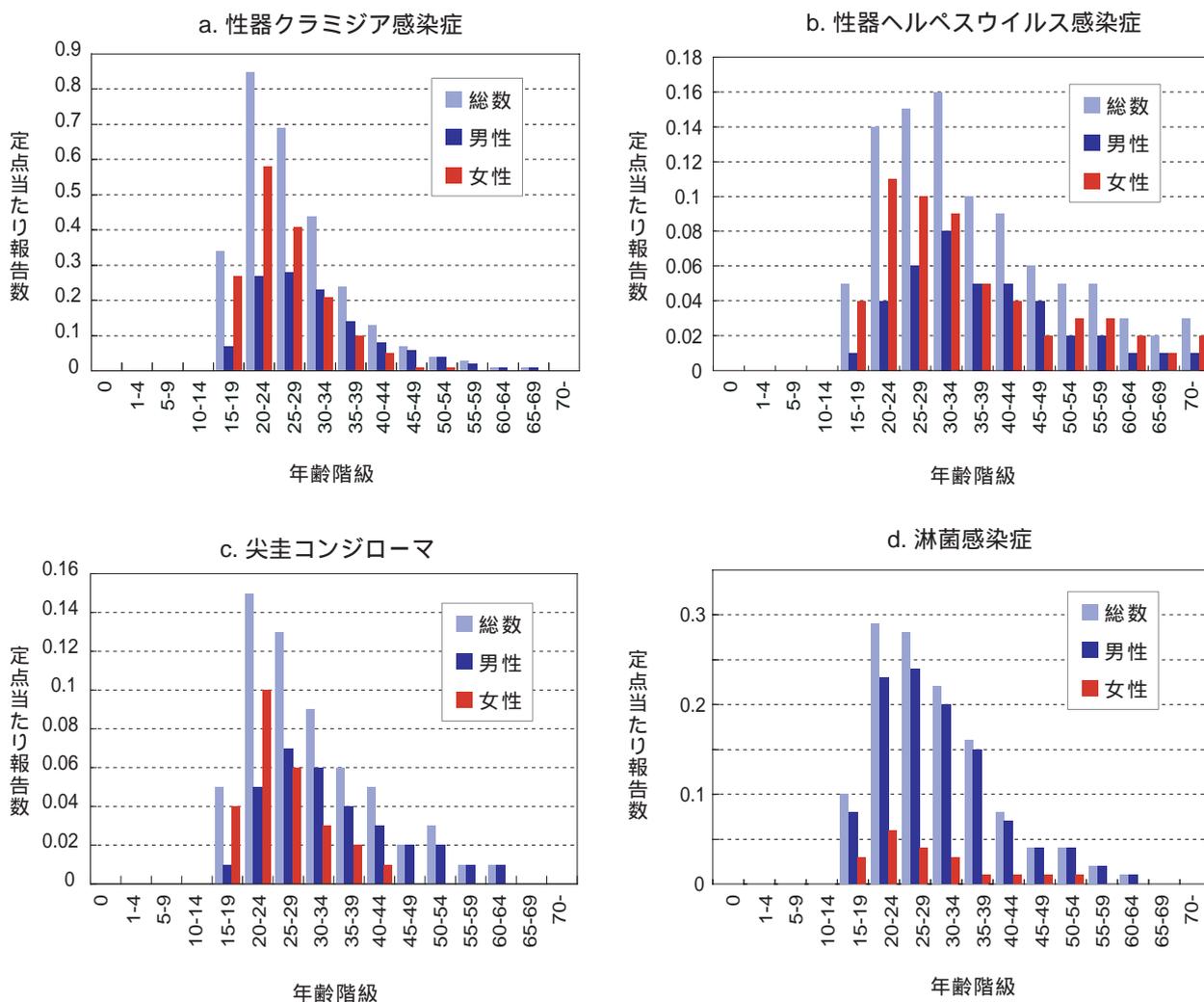
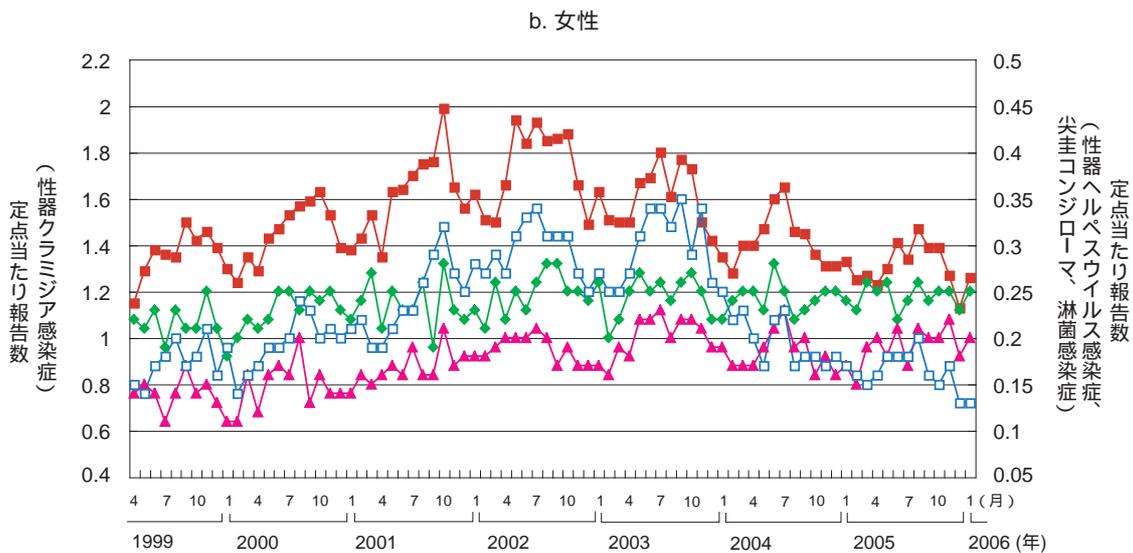
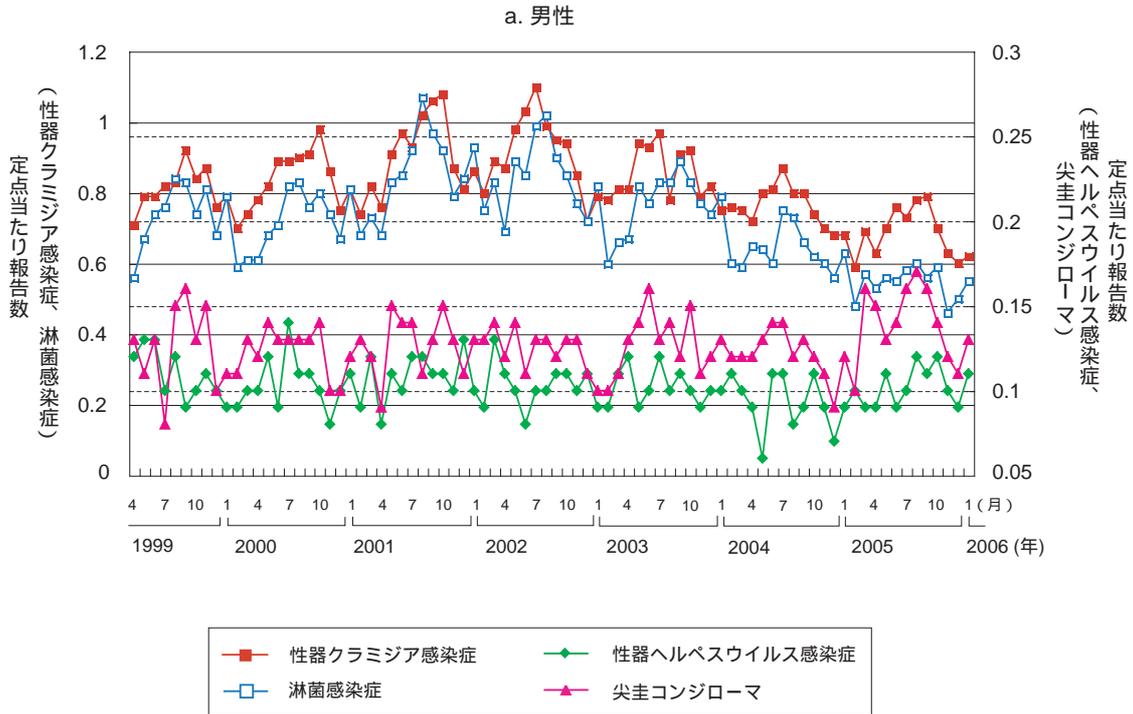


図4. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15 ~ 29歳)



薬剤耐性菌感染症について(2月14日集計分)

2006年1月の定点(基幹定点)総数: 465

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.01(前月: 3.91、前年同月: 4.13)

定点当たり報告数は、例年年間を通してほぼ一定である。本年1月は前月(2005年12月)より微増し、過去6年間の同月との比較では2005年に次いで多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.06(前月: 1.37、前年同月: 1.19)

定点当たり報告数は、2004年を除き、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(8、9月)に少なく推移している。本年1月は前月より減少し、過去6年間の同月との比較では、2003年、2004年、2005年に次いで多かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.09(前月: 0.10、前年同月: 0.10)

定点当たり報告数は、例年一年の後半が前半に比べてわずかに多い傾向がある。本年1月は前月より微減し、過去6年間の同月との比較では2004年、2003年、2005年、2002年に次いで多かった。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の75%(70歳以上が67%)を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の54%(5歳未満が49%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の28%(70歳以上が23%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症...70歳以上の高齢者に多く、全体の71%を占めている(図3)。

[性別] 女性を1として算出した男/女比

MRSA感染症...2.0/1

PRSP感染症...1.4/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.7/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は栃木県(9.6)、高知県(9.3)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(7.9)、富山県(4.8)、高知県(3.3)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は富山県(0.80)、奈良県(0.67)、香川県(0.50)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

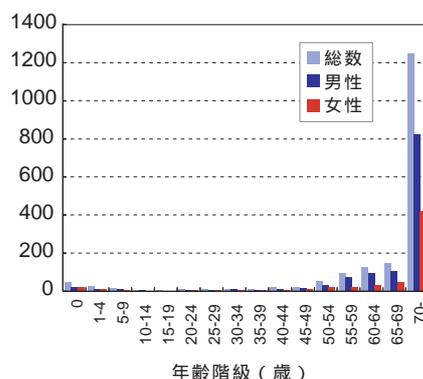


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

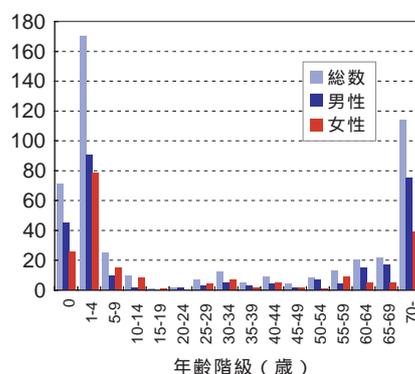
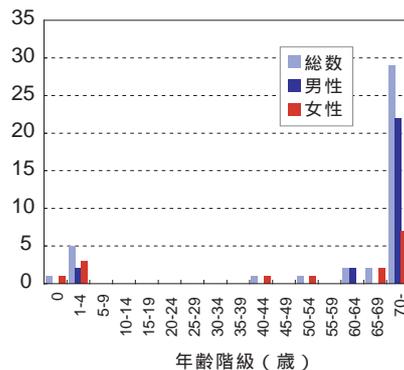


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(2月22日集計分)

1月の新登録患者数は1,805人(男性1,176人、女性629人)で、このうち活動性肺結核患者は1,449人(うち喀痰塗抹陽性者は694人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(249人)、大阪市(114人)、大阪府(大阪市を除く) (104人)、千葉県(千葉市を除く) (79人)、愛知県(名古屋市を除く) (64人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は207人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

インフルエンザ

第7週のインフルエンザの定点当たり報告数は全国レベルで17.4(報告数81,683)であり、3週連続して減少した(図1)。都道府県別では長野県(37.4)、愛知県(36.7)、富山県(34.2)、高知県(31.6)、石川県(29.8)が多かったが、定点当たり報告数が40.0を超えている都道府県はゼロとなり、30.0を超えている県は4県となった(図2)。現在、流行の中心は本州中央部であると考えられるが、全国的には流行のピークは既に過ぎていると考えられる。

累積年齢別では5~9歳が227,951(30.0%)と最も多く、次いで0~4歳が199,221(26.2%)であり、14歳以下が全報告数の約69.6%を占めている(図3)。

今シーズンは第36週以降、2,242件のインフルエンザウイルスの分離報告があり、そのうちA(H1N1)型は354(15.8%)、A(H3N2)型は1,868(83.3%)、B型は20(0.9%)であった(図4)。

今シーズン第7週までに、急性脳炎として報告されたインフルエンザ脳症は32例(男性17例、女性15例)であり、インフルエンザの報告が急激に増加した時期に、脳症の報告の増加がみられている(図5)。インフルエンザウイルスのタイプ別では、現在明らかとなっているのはA型28例、B型0例(現時点で型不明4例)である。年齢別では、13歳が2例(男女各1例)報告されている他は、全て0~7歳であった(表)。

インフルエンザの報告は第5週から週毎に減少がみられ、全国的には流行のピークは過ぎたと考えられるが、まだ流行は継続しているため、発生動向の推移には注意が必要である。

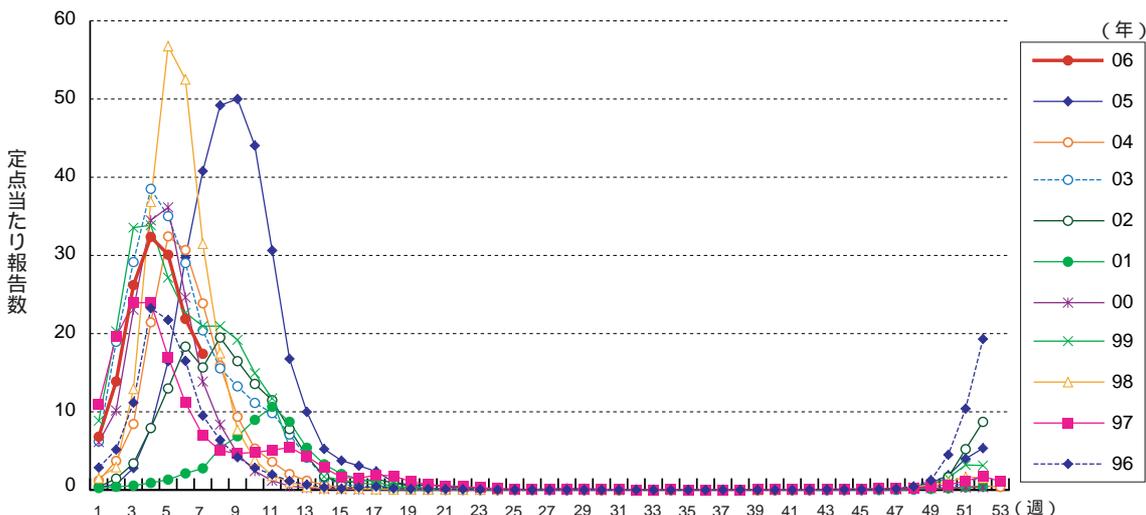


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1996 ~ 2006年第7週)

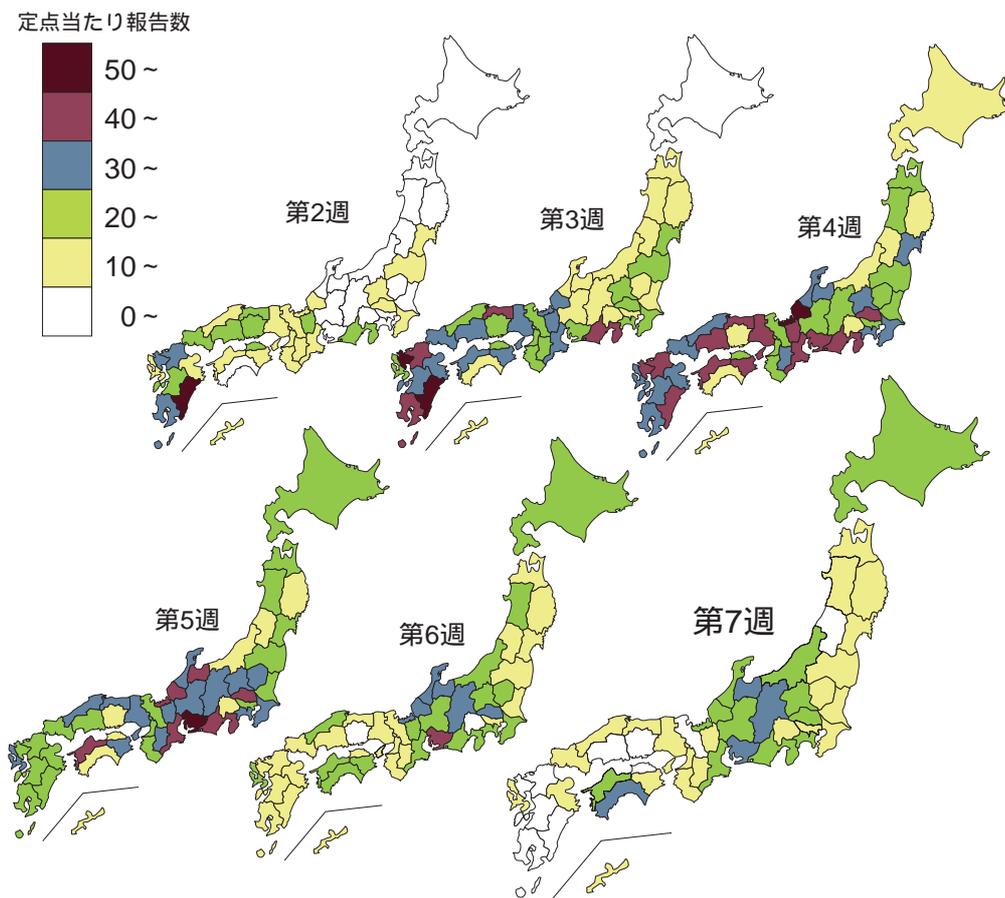


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(第7週現在)

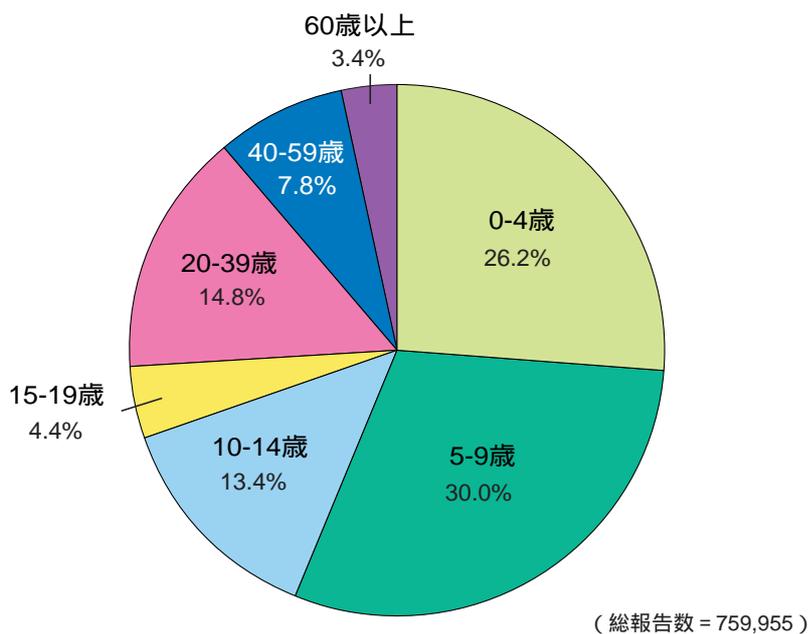


図3. 2005/06シーズンのインフルエンザ報告症例の年齢別割合 (2005年第36週～2006年第7週)

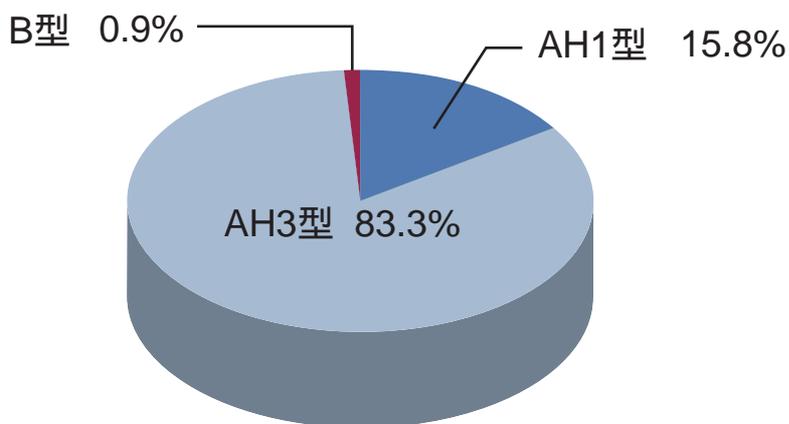


図4. 2005/06シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離結果
(2005年第36週 ~ 2006年第7週)

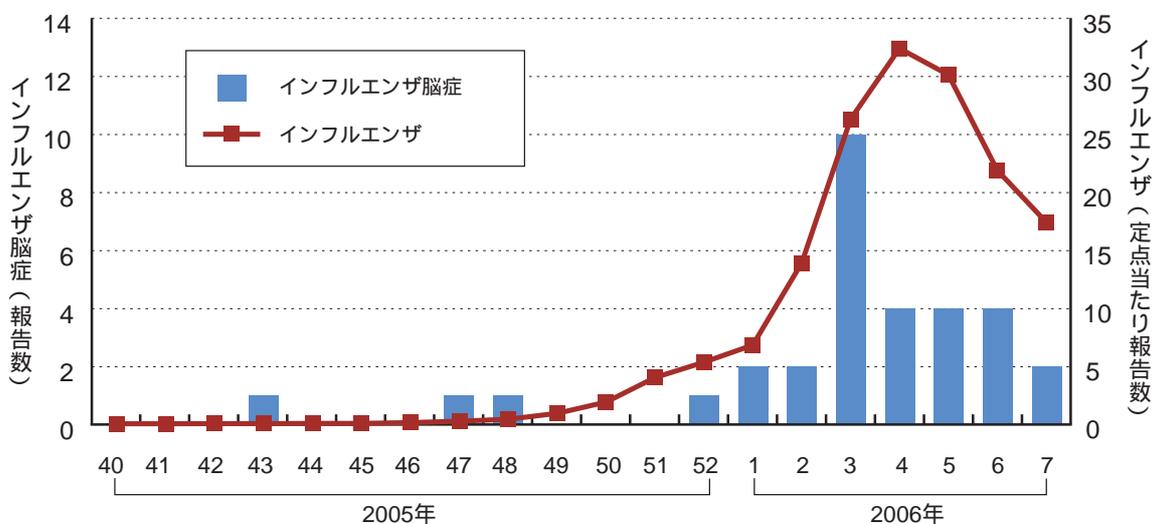


図5. 2005/2006年シーズンにおけるインフルエンザ脳症およびインフルエンザの報告の推移
(2005年第40週 ~ 2006年第7週)

表. インフルエンザ脳症の報告例 (2005/2006年シーズン)

症例	性	年齢	都道府県	発症日	インフルエンザ ウイルス型別	症 状
1	女	4	茨城県	2005.10.23	A	けいれん、意識障害、DIC、MOF
2	男	6	千葉市	2005.11.24	A	けいれん重積、下痢・嘔吐
3	男	3	東京都	2005.12.2	A	けいれん、意識障害
4	女	13	福島県	2005.12.29	A	嘔吐、けいれん、意識障害
5	男	2	三重県	2005.12.31	A	発熱、けいれん、意識消失、24時間以上の入院
6	女	1	山口県	2006.1.2	A	発熱、けいれん、意識低下
7	男	3	広島市	2006.1.12	A	発熱、けいれん、意識障害
8	女	2	福岡市	2006.1.14	A	けいれん重積、遷延性意識障害
9	男	6	千葉市	2006.1.14	不詳	発熱、けいれん、意識障害
10	女	7	岡山県	2006.1.15	A	けいれん重積、意識障害
11	男	5	福島県	2006.1.16	A	発熱、けいれん、意識障害
12	男	13	東京都	2006.1.16	A	発熱、意識障害
13	男	4	福岡市	2006.1.16	A	発熱、けいれん、意識障害
14	女	6	岡山県	2006.1.17	A	けいれん重積、左側半盲
15	男	2	栃木県	2006.1.18	A	けいれん重積、意識障害
16	女	0	東京都	2006.1.18	不詳	意識障害、けいれん
17	女	1	東京都	2006.1.22	A	発熱、けいれん重積
18	男	0	神戸市	2006.1.22	A	けいれん重積、意識障害
19	女	6	栃木県	2006.1.22	A	けいれん、意識障害、対光反射消失
20	女	4	福岡県	2006.1.22	A	発熱、意識障害
21	男	4	山形県	2006.1.24	不詳	けいれん重積、意識障害
22	男	0	神戸市	2006.1.25	A	発熱、けいれん、遷延性意識障害
23	女	1	広島市	2006.1.29	A	発熱、けいれん
24	女	5	大阪府	2006.1.30	A	発熱、意識障害
25	女	4	奈良県	2006.1.31	A	発熱、せん妄
26	男	4	千葉市	2006.2.1	A	発熱、意識障害、問いかけに返答なし
27	女	6	福島県	2006.2.6	A	発熱、けいれん、意識障害
28	男	3	静岡県	2006.2.7	不詳	意識障害
29	男	4	新潟県	2006.2.7	A	意識障害、呼吸困難
30	男	6	千葉市	2006.2.10	A	発熱、けいれん、意識障害
31	男	4	三重県	2006.2.12	A	発熱、けいれん重積、右共同偏視
32	女	2	埼玉県	2006.2.18	A	発熱、けいれん重積、意識障害



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年2月24日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

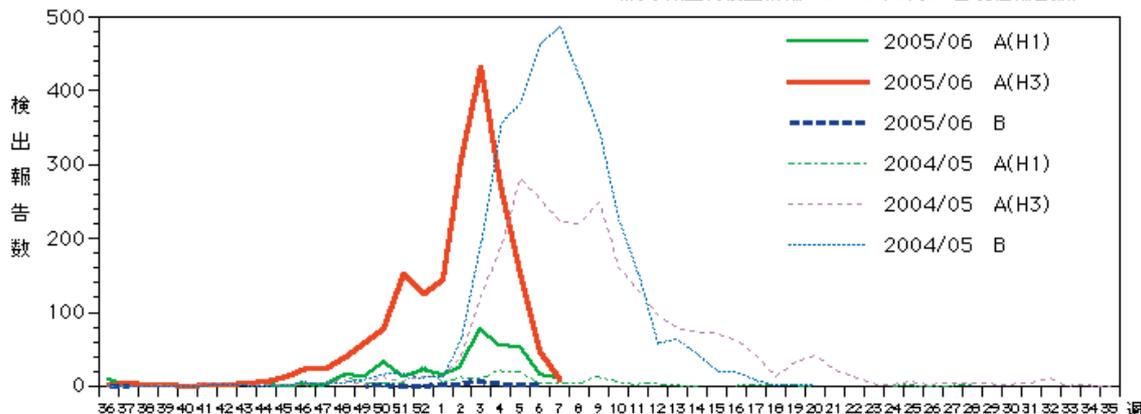
AH3型は2005年第45週から報告が増加し、年が明けて第2～3週に大きく増加している。2005年第36週からの今シーズンの累計では、46都道府県から計1,868件の分離が報告されている(この他、PCRで佐賀県19件、東京都3件、京都府2件、山形県1件、LAMPで神戸市5件の検出)。

AH1型は2005年第48～50週に報告が増加し、年が明けてAH3型と同時期に再び増加している。2005年第36週からの今シーズンの累計では、39都道府県から354件の分離が報告されている(この他、PCRで東京都6件、佐賀県2件、LAMPで神戸市1件の検出)。

B型は2005年第50週に神奈川県と大阪府から各1件、2006年第1～6週に高知県4件、埼玉県、岐阜県、静岡県各3件、石川県、大阪府各2件、神奈川県1件、計20件の分離が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



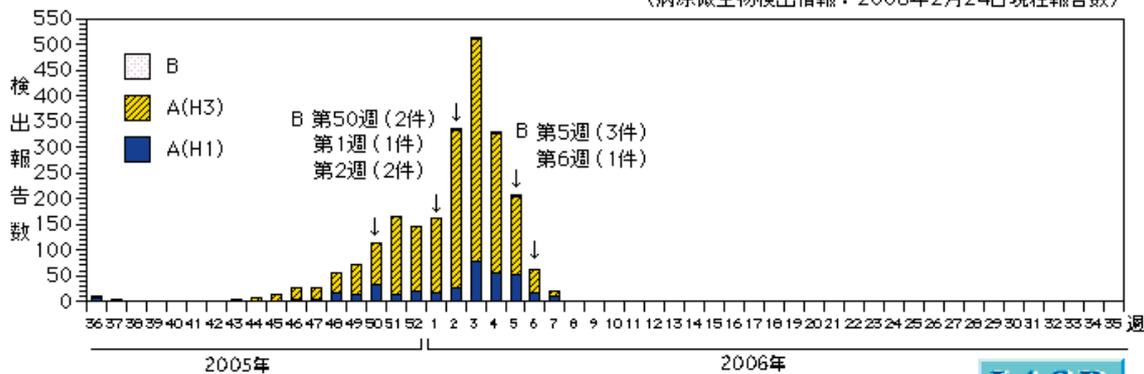
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



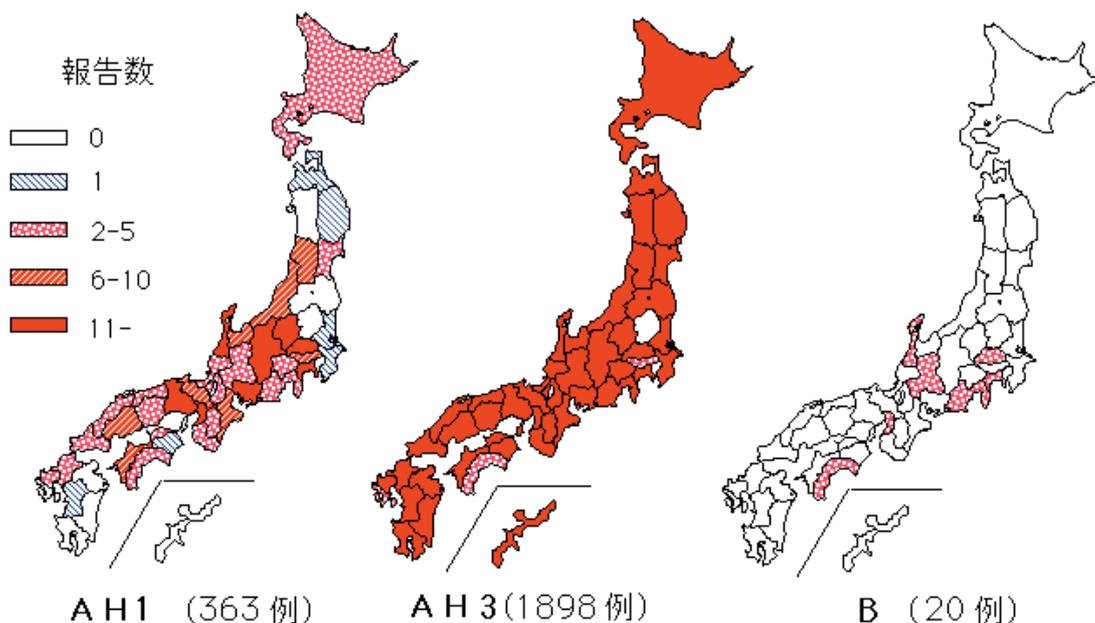
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

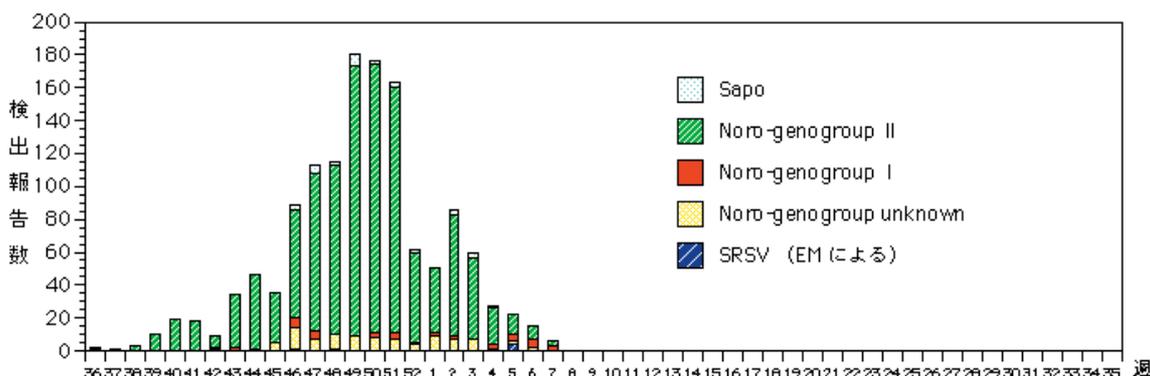
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン

今シーズンはノロウイルスgenogroup IIの報告が前シーズンより早く増加し、2005年第49～51週に大きく増加している。2005年第36週～2006年第7週の期間に岩手県148件、大阪府142件、秋田県87件、滋賀県84件、愛媛県82件など、33府県から計1,172件報告されている。また、genogroup Iの検出が愛媛県14件など、15府県から計43件報告されている。この他、genogroup unknownの検出が東京都52件、奈良県26件、鳥取県13件、計91件報告されている。

サポウイルスは2005年第46週～2006年第4週に愛媛県19件、熊本県5件、大阪府3件、宮城県、島根県各2件、三重県1件、計32件の検出が報告されている。

A群ロタウイルスは第2～5週に増加しており、第7週までに徳島県14件、大阪府12件、鹿児島県11件など、22都府県から計94件の検出が報告されている。C群ロタウイルス2件が広島県から報告されている。

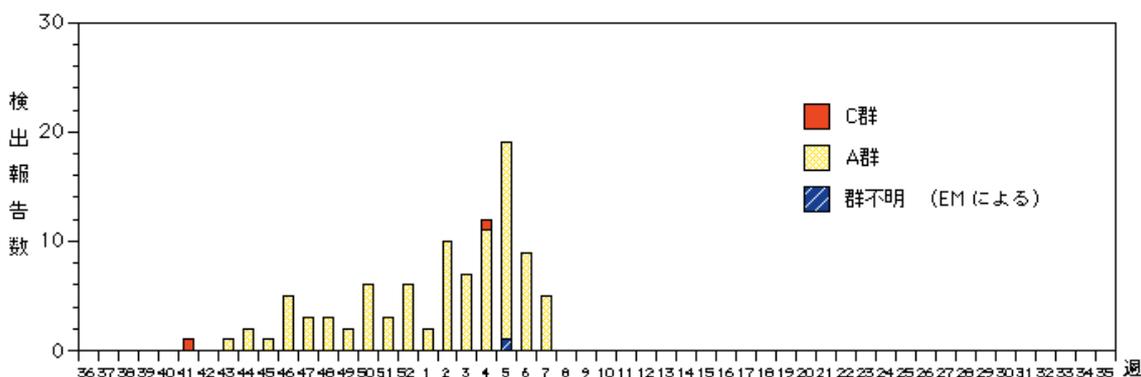
検出されたSRSVの内訳、2005/06シーズン (病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



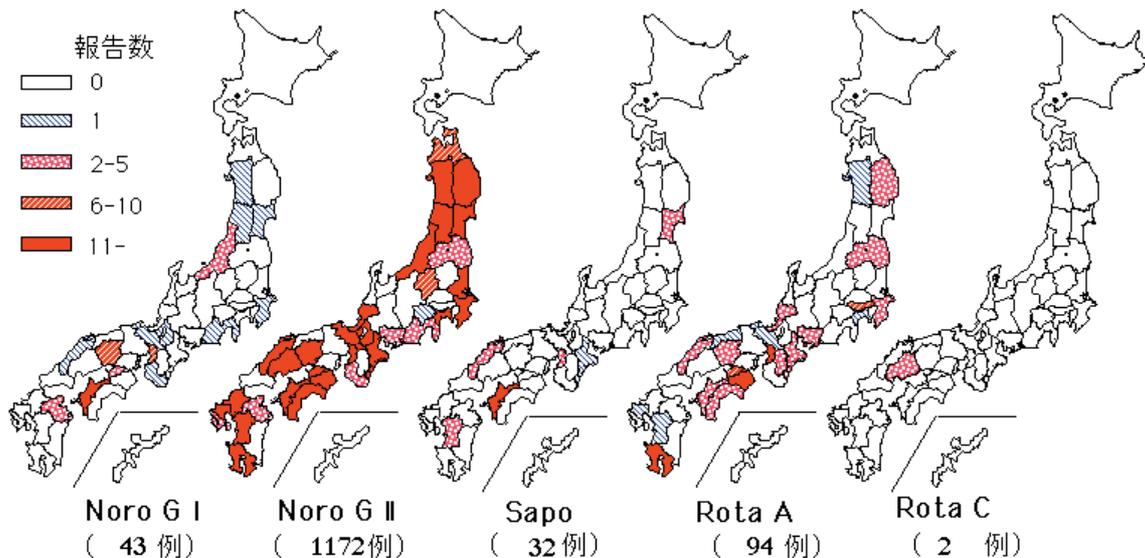
検出されたロタウイルスの内訳、2005/06シーズン (病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2005/06シーズン
(病原微生物検出情報：2006年2月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





腸チフス 2005年(2006年1月26日時点)

腸チフスはチフス菌(*Salmonella Typhi*)の感染によって起こる全身性疾患である。チフス菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、およびそれらに汚染された食品、水、手指が感染源となる。通常は1～3週間の潜伏期の後、39～40の発熱が出現する。主要症状は高熱の持続で、他に特記すべき症状はないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現し、数時間で消える)、脾腫が3主徴とされているが、これらの出現率は30～50%程度である。便秘、時には下痢がみられることがある。合併症として腸出血、腸穿孔があるが、ニューキノロン系薬が使用されるようになってからは稀である。しかし最近、ニューキノロン系薬低感受性の症例の増加が問題となっている。また、適切な治療がなされないと、再発・再燃や慢性のチフス菌保菌者になることがある。

腸チフスは1999年4月1日施行の感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届け出が、診断した全ての医師に義務づけられている。過去の年間累積報告数は、2000年86例、2001年65例、2002年63例、2003年62例、2004年71例であり、2005年の報告数(診断週が2005年第1～52週のもので、2006年1月26日までに報告されたもの)は49例と、過去5年間と比べやや少なかった。2005年の49例のうち疑似症が6例で、無症状病原体保有者は2例であった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者の調査などによって発見されたものである。

疑似症を除く43例では、男性24例、女性19例で、年齢は3～91歳(中央値29歳)であった。推定感染地域は国内12例、国外27例、不明4例であった。死亡例の報告が1例(70代)あった。病原診断は細菌培養により行われているが、検体の種類をみると、患者(41例)では血液および便2例、血液29例、便9例、大腸粘膜1例で、無症状病原体保有者(2例)では尿2例であった。なお、規定の「病原体を保有していないことの確認方法」に基づき、便での菌陰性化の確認が行われた後、再発(血液培養陽性)した症例が1例あった。

国内を推定感染地域とする12例(男性4例、女性8例)について年齢群別にみると、10歳未満1例、10代2例、20代2例、30代2例、50代1例、70代1例、80代2例、90代1例(中央値31歳)であった(図1)。発症期日については、記載されていたのが8例と少ないが、明らかな傾向はみとめられなかった(図2)。なお、いずれも散发例であり、推定感染源は特定されなかった。

国外を推定感染地域とする27例(男性17例、女性10例)について年齢群別にみると、10歳未満2例、10代1例、20代13例、30代9例、40代1例、50代0例、60代1例(中央値27歳)で、20代、30代に集中しており、全体の80%を占めた(図1)。27例について発症月をみると、3月6例、9月4例、10月4例)が多かった(図2)。また、推定感染国別にみると(複数回答あり、国名報告数29)、インド13例(再発の1例を含む)、インドネシア5例、ネパール4例、フィリピン3例、パキスタン2例、バングラデシュ1例、マレーシア1例であった(図3)。

ワクチンとしては、欧米先進国では新世代の経口生ワクチン、および注射莢膜多糖体ワクチンがあり、発展途上国への渡航者を対象に接種されている。しかし、わが国ではいずれも未認可である。

予防の基本は感染経路の遮断であり、特に手洗いの励行が重要である。また、流行地への渡航などでは生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要であり、また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

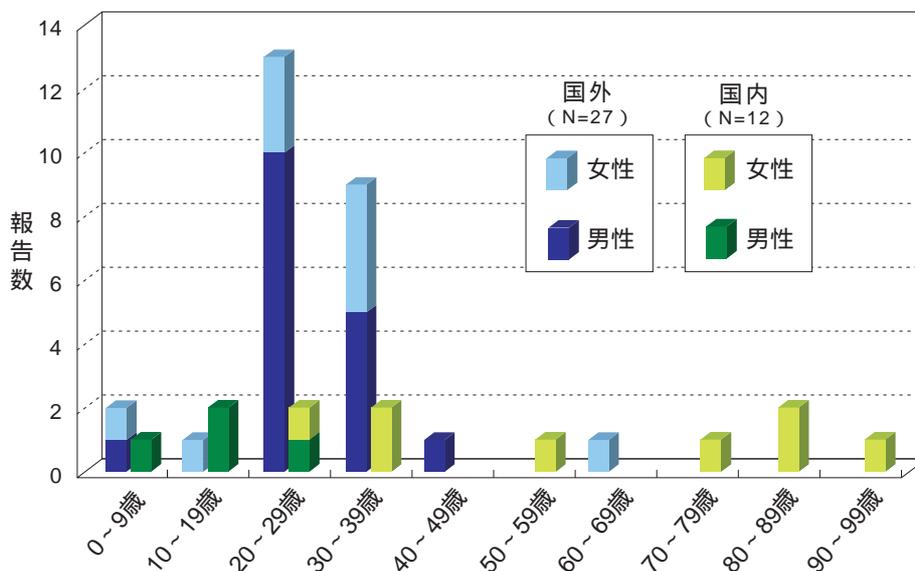


図1. 腸チフスの報告症例の推定感染地域別・性別・年齢群別分布(2005年)
疑似症6例、推定感染地域不明4例を除く

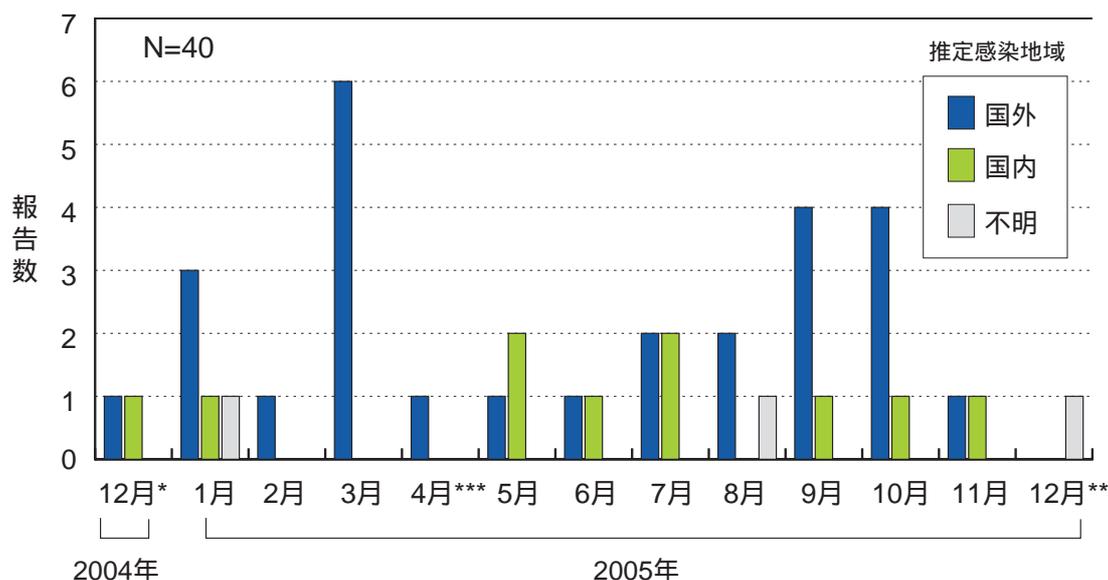


図2. 腸チフスの報告症例の推定感染地域別・発症月別分布(2005年)
疑似症(6例)、無症状病原体保有者(2例)および発症月不明(1例)の9例を除く
*2005年1月以降に診断された症例
**2006年1月以降に診断された症例を除く
***3月に発症した1例の再発

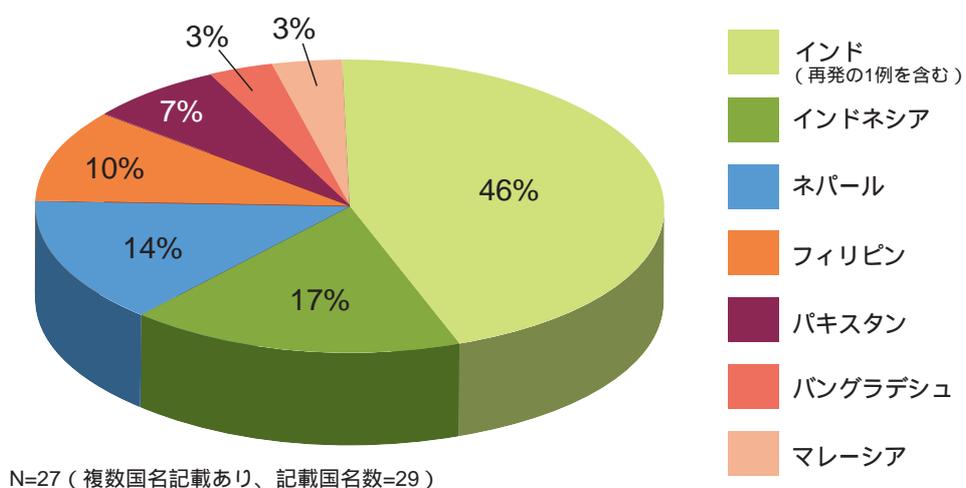


図3. 腸チフスの国外感染例における推定感染国の割合(2005年)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

鳥インフルエンザの世界的拡大

WHO/EPR 2006年2月21日

2月18日に報告されたインドでの流行は、野生の鳥と飼育鳥の間でウイルスが急激に地理的に拡散していることの一部である。

インドは、2月以降鳥でのH5N1感染を報告した13カ国の1つである(報告国はイラク、ナイジェリア、アゼルバイジャン、ブルガリア、ギリシャ、イタリア、スロベニア、イラン、オーストリア、ドイツ、エジプト、インド、フランス)。

マレーシアではそれまで1年以上、鳥インフルエンザの発生は見られなかったが、2月20日に新たな発生を報告した。

アゼルバイジャンでは、国内の死亡した鳥からウイルスが検出された。エジプトでは10行政区において、国内の家禽で確認され、動物園での外来鳥の死亡も報告された。イラクではヒト感染者が確認された後に、鳥でのウイルスの存在が示された。

ナイジェリアではインドと同様に、商業的養鶏場で最初の流行が検出された。

イラクを除き、2月に新たに鳥インフルエンザが報告された国では、ヒトの患者は報告されていない。イラクでは2人のヒト患者が報告され、両名とも死亡した。他の患者についての検査が行われている。

全ての証拠が示していることは、鳥からヒトへは容易に感染しないことである。ほとんど全ての感染者には、鳥との濃厚接触歴がある。また、加熱調理済みの肉や卵による感染の報告はない。

スーダン(赤道中央州)でのコレラ流行状況

WHO/EPR 2006年2月24日

1月28日から2月21日に、スーダン南部の主要2都市YeiとJubaで、2,793人の患者と77人の死亡者が報告された。致死率は2.03%であった。ナイロビのAMREFでの検査により、コレラ菌稲葉型が確認された。

ナイジェリアでの鳥インフルエンザ状況

WHO/EPR 2006年2月22日

これまでのところ、感染患者は確認されていない。発病した家禽への曝露歴を有し、呼吸器症状を呈している患者4名につき、現在、感染の可能性についての調査がなされている。この中には、2006年2月16日に急性呼吸器疾患で死亡した女性患者が含まれる。残る患者3名の状態は良好である。解析のため、患者4名から採取した検体を英国のWHO協カラボに送付するよう、手配がなされた。Kaduna州での最初の流行は、現在では2006年1月10日に始まったと確認されたが、これによって、ヒトへの曝露がより以前から生じた可能性が高まり、この地区やその他で複数の患者が発生している可能性がある。感染が確認された養鶏施設に近いKaduna、Kano、およびKatsinaにある病院では、WHOが指導するチームのスタッフが、以前から発生している可能性のある患者を探索して、患者診療記録数百件を調査している。しかしこれまでのところ、その様な患者は特定されていない。

インドでの鳥インフルエンザ状況

WHO/EPR 2006年2月21日

2006年2月16日インドの農業当局は、同国で初となる家禽での鳥インフルエンザ事例を確認した。本疾患は、西部のMaharashtra州Navapur亜地区にある複数の商業的養鶏場で見つかった。

この日以前に、この地区の50カ所以上の養鶏施設で家禽の大量死が認められていたが、原因は当初ニューカッスル病と診断されていた。現在では、今回の感染は2006年1月27日に始まったと考えられている。農業当局は、一部の零細な養鶏場(backyard farms)でも被害が発生していると報告している。

感染が発生した施設での家禽の大量処分は、2月21日も継続された。厚生省はNavapurおよびその隣接地区に、緊急対応チームを急派した。インフルエンザ様症状を呈する患者に対する、戸別訪問調査が実施されている。政府は、疑い患者を隔離して治療するため、Navapurの1病院に設備をととのえた。WHOは2月21日、Navapur亜地区における発熱と呼吸器症状を呈する患者12名が用心のため、観察の目的で医療機関に収容されていると報告を受けた。隣接するGujarat州のVaira亜地区でも、別の患者3名が観察のため、入院している。

国内の国立ウイルス学研究所では、以上の患者および密接な接触者からの検体を解析している。結果は、今週後半に判明する予定である。

WHO/EPR 2006年2月23日 - 更新

インド厚生省はWHOに対して、これまでのところH5N1型ウイルス感染患者は確認されていないと報告した。調査中の人々と、それらの密接な接触者から採取された検体について実施された検査では、これまでに陽性結果は得られていない。診断検査はPuneにある国立ウイルス学研究所、Delhiにある国立感染症研究所で行われている。2月17日に呼吸器疾患で死亡したとされるGujarat州出身の27歳養鶏場従業員が検査対象に含まれていたか否かは、不明である。

インドにおいてWHOは、初めて高病原性H5N1型鳥インフルエンザ流行を経験した他の諸国と同様に、患者検体を診断確定のためにWHO協ラボに送付するよう、強く勧めている。新たに感染伝播が生じた国で、ヒト感染患者の発生状況について確認することは、正確なリスク評価に重要である。加えて、WHO認定ラボによって解析が実施されれば、ウイルスの変異および感染伝播経路の手がかりをつかむことができる。循環しているウイルスの遺伝子および抗原検査により、パンデミックワクチンの開発作業が正しい軌道に乗っていることを確認するのに役立つ。

インドネシアでの鳥インフルエンザ状況

WHO/EPR 2006年2月21日 - 更新4

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザH5N1感染のあらたなヒト症例を確認した。患者は東ジャカルタの23歳男性で、生鮮品市場で卵売りをしていて、2月5日に発症して7日に入院し、10日に死亡した。患者と接触した者の中で、インフルエンザ様症状を呈した者はみられなかった。これにより、インドネシアの総患者数は26人、死亡者数は19人となった。

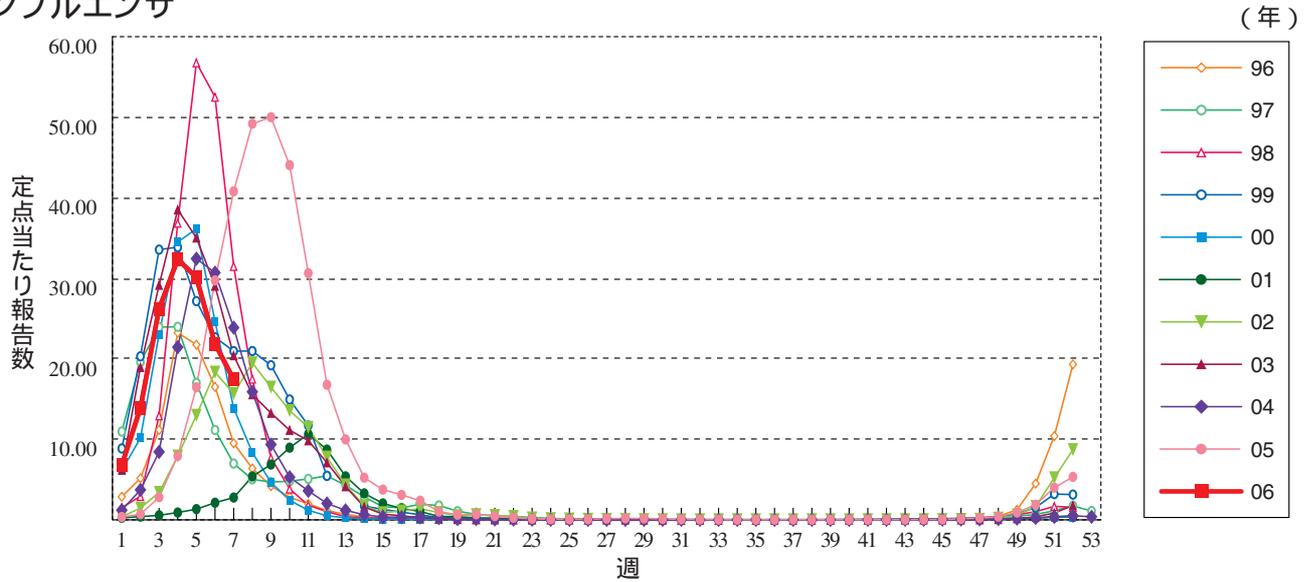


感染症の話

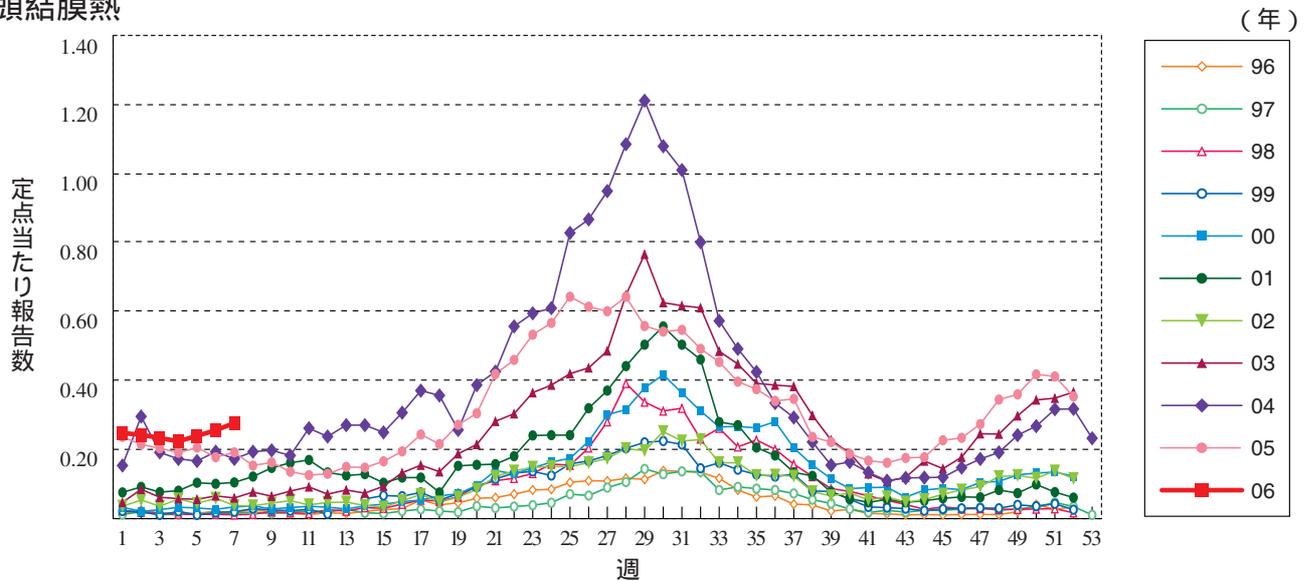
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(7週)

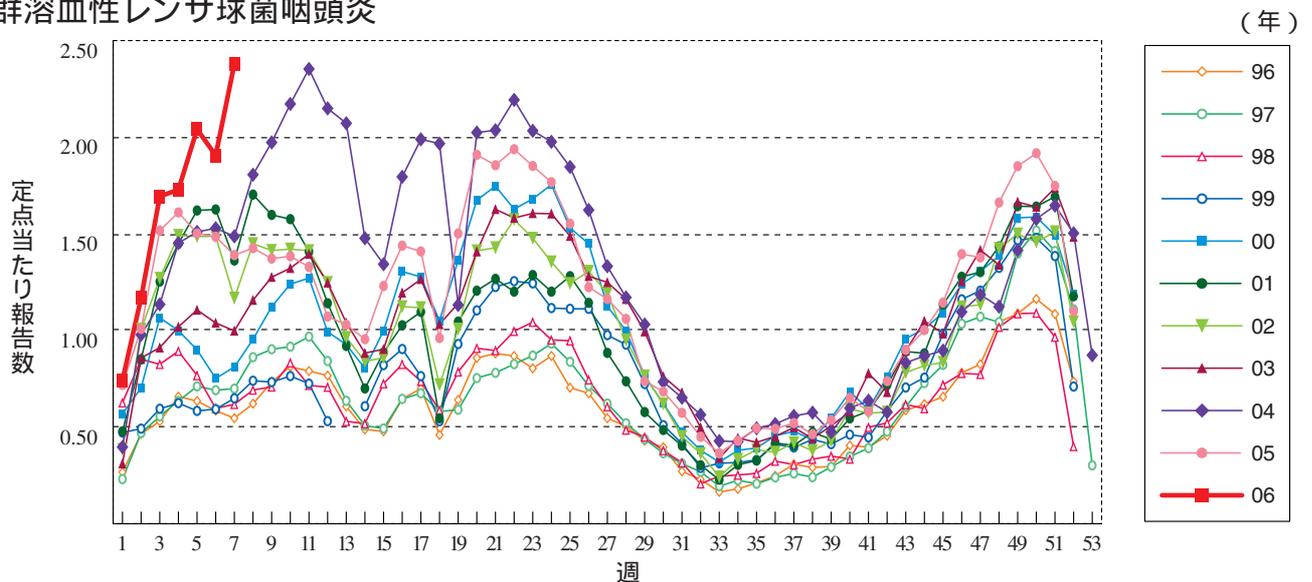
インフルエンザ



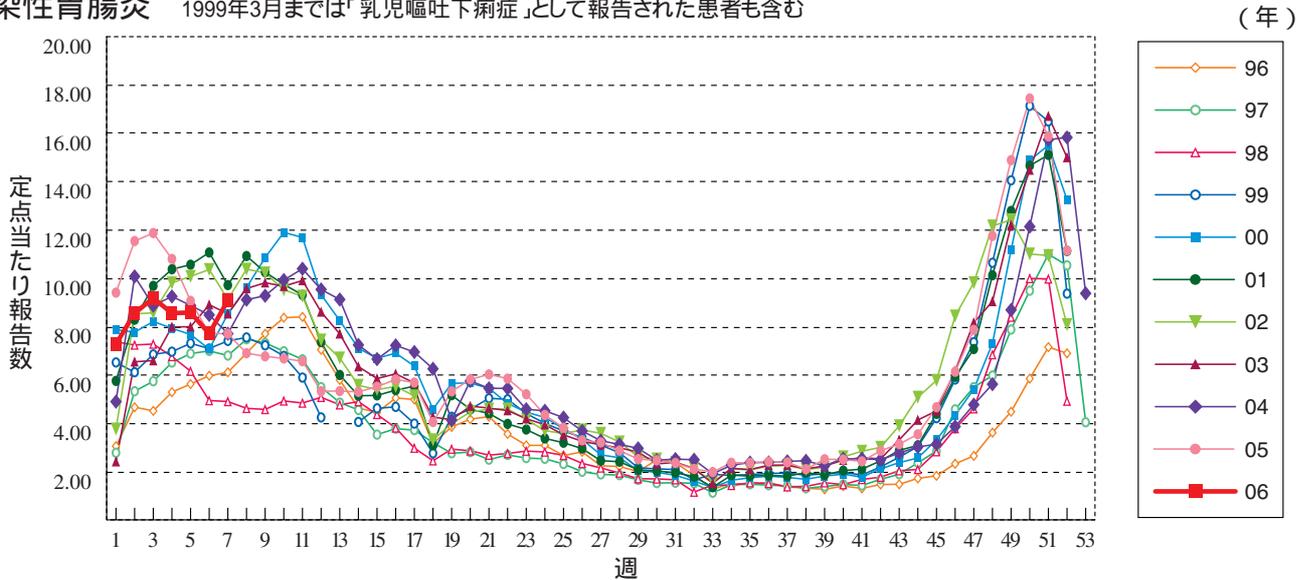
咽頭結膜熱



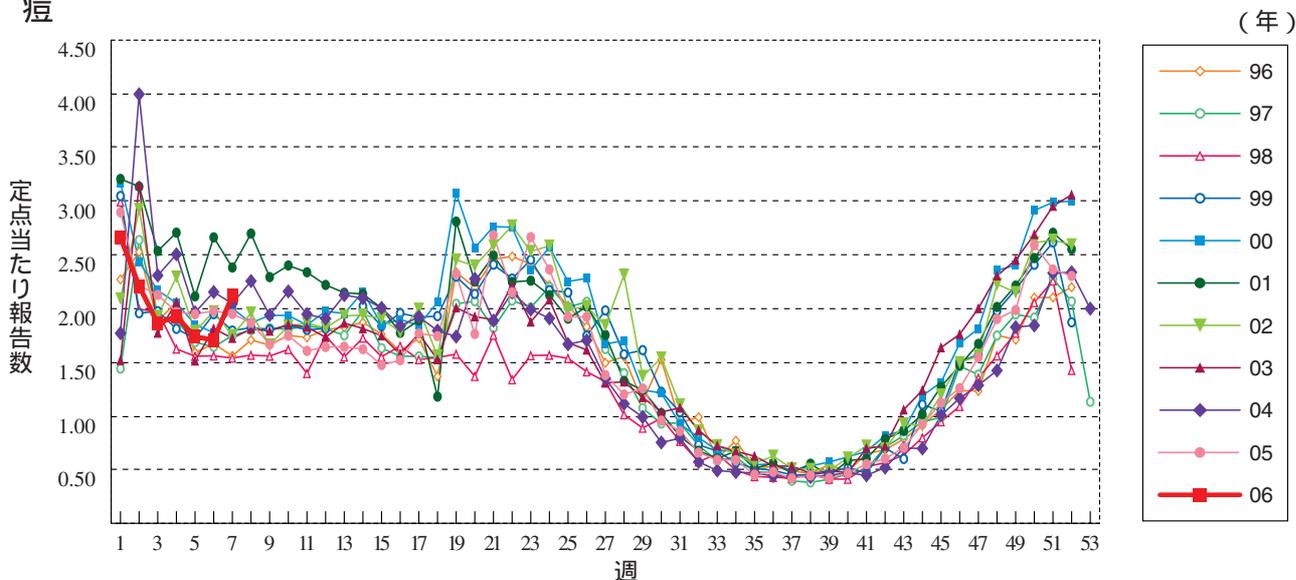
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



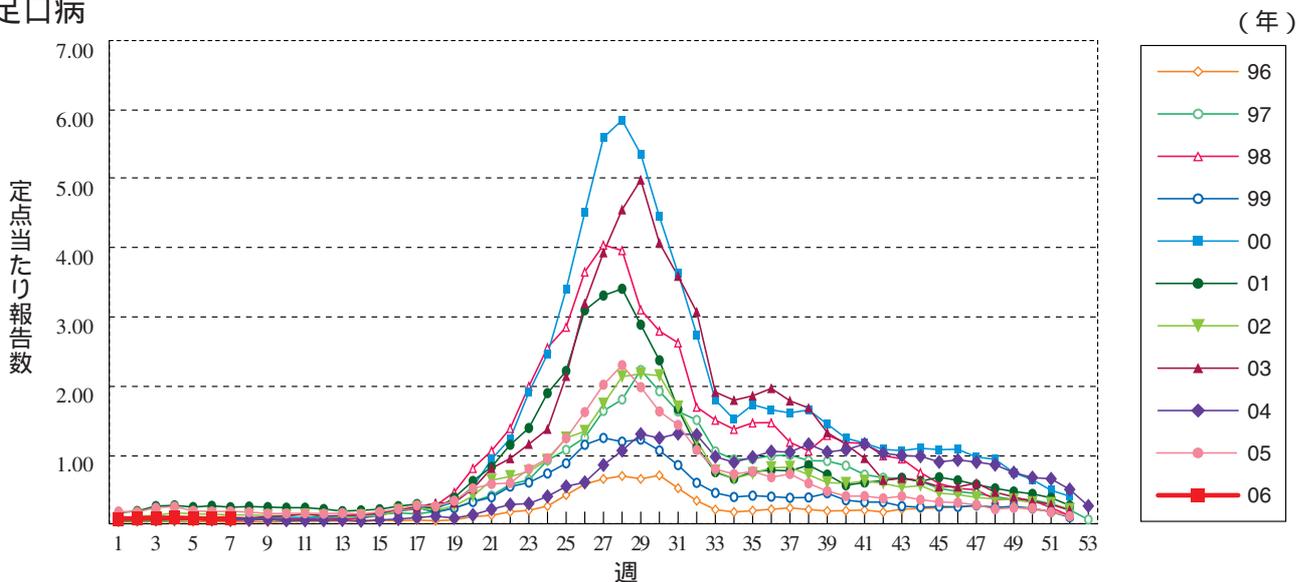
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



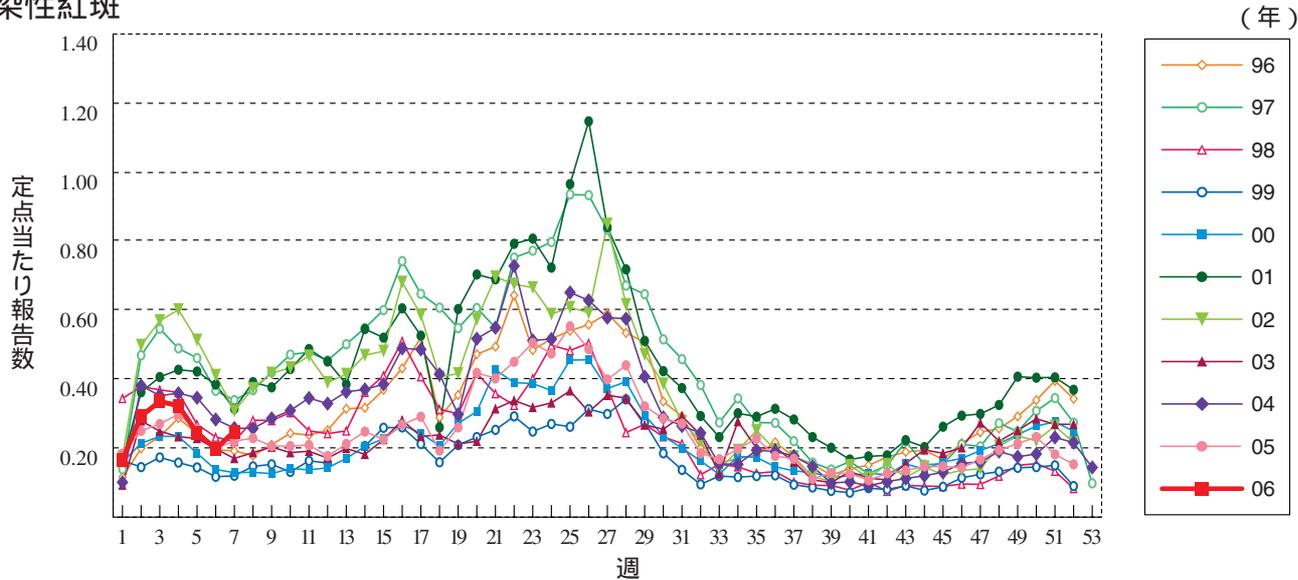
水痘



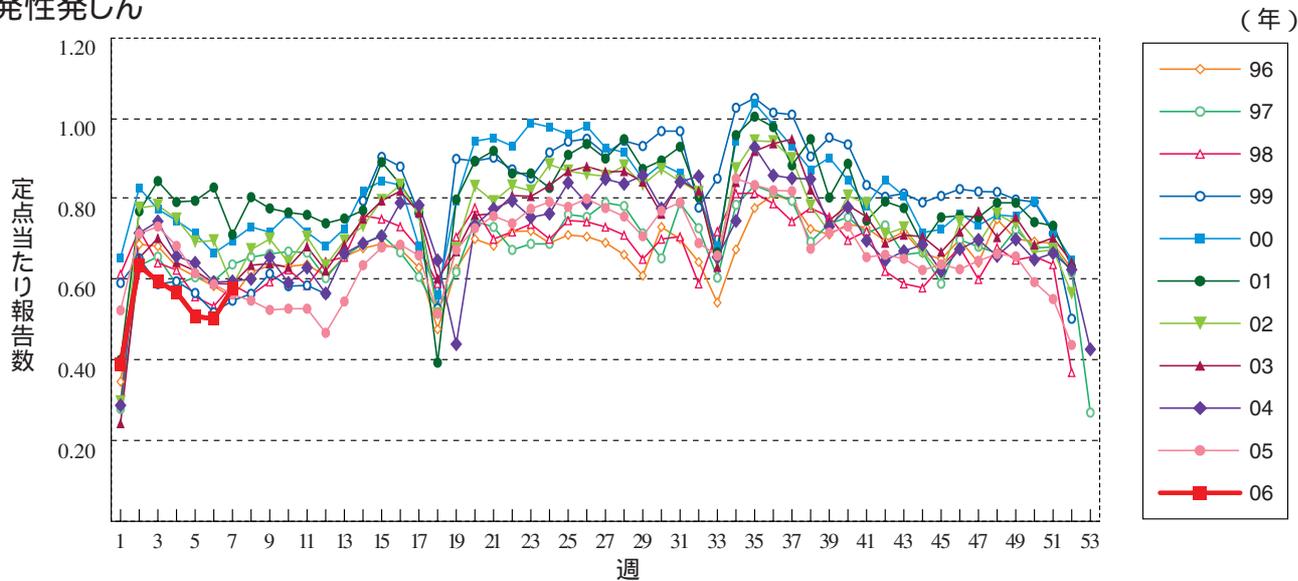
手足口病



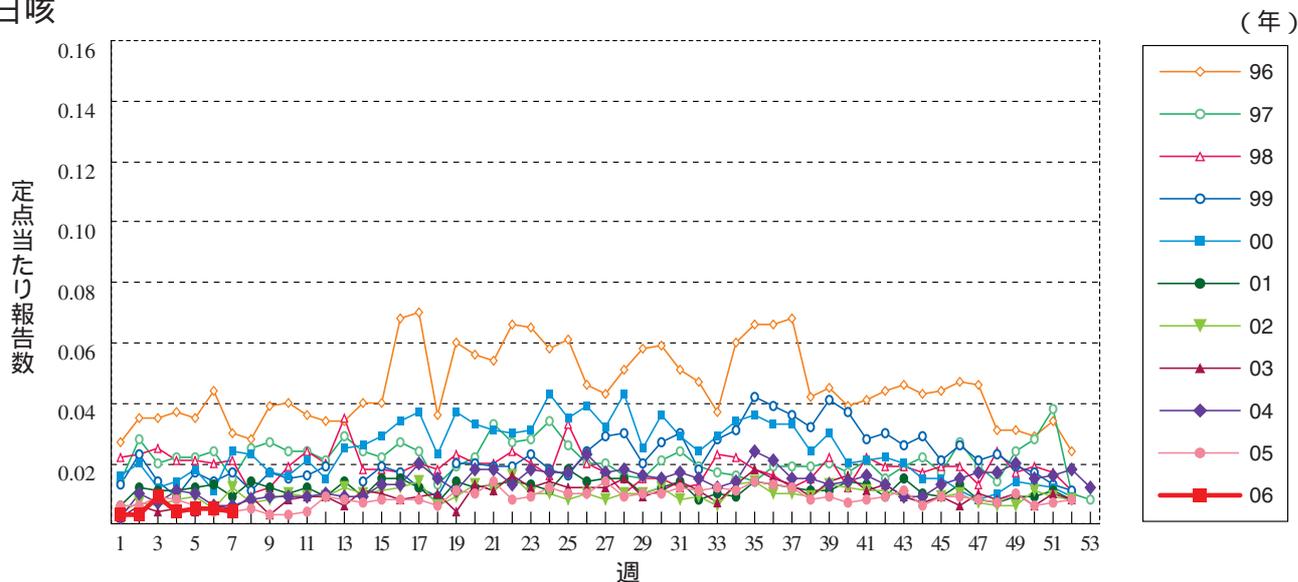
伝染性紅斑



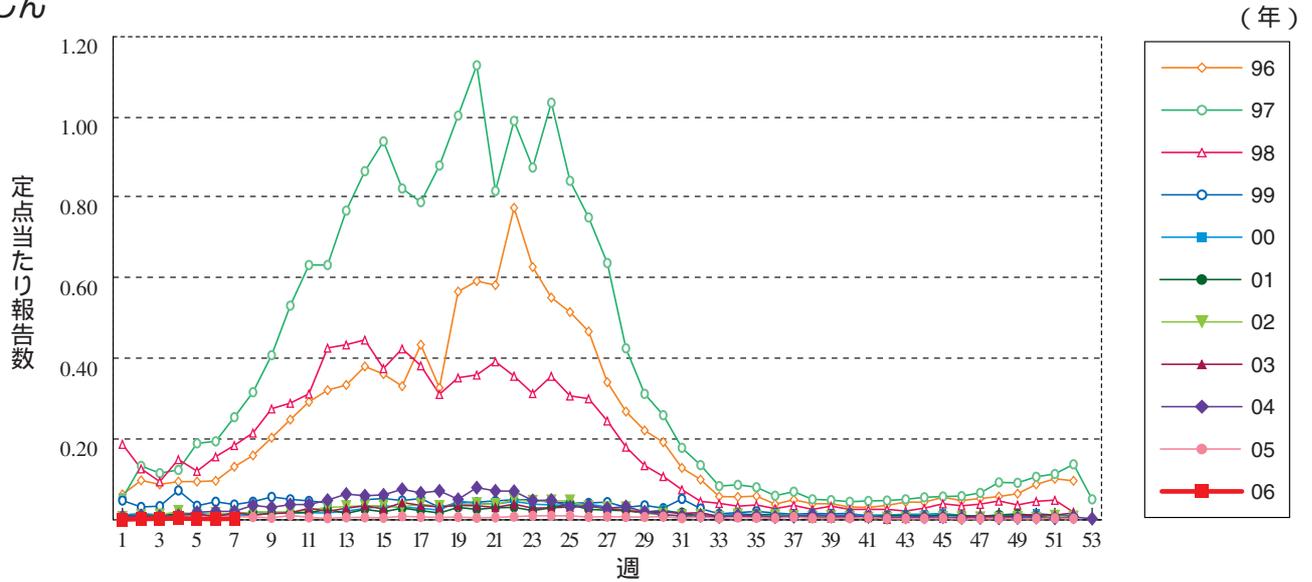
突発性発しん



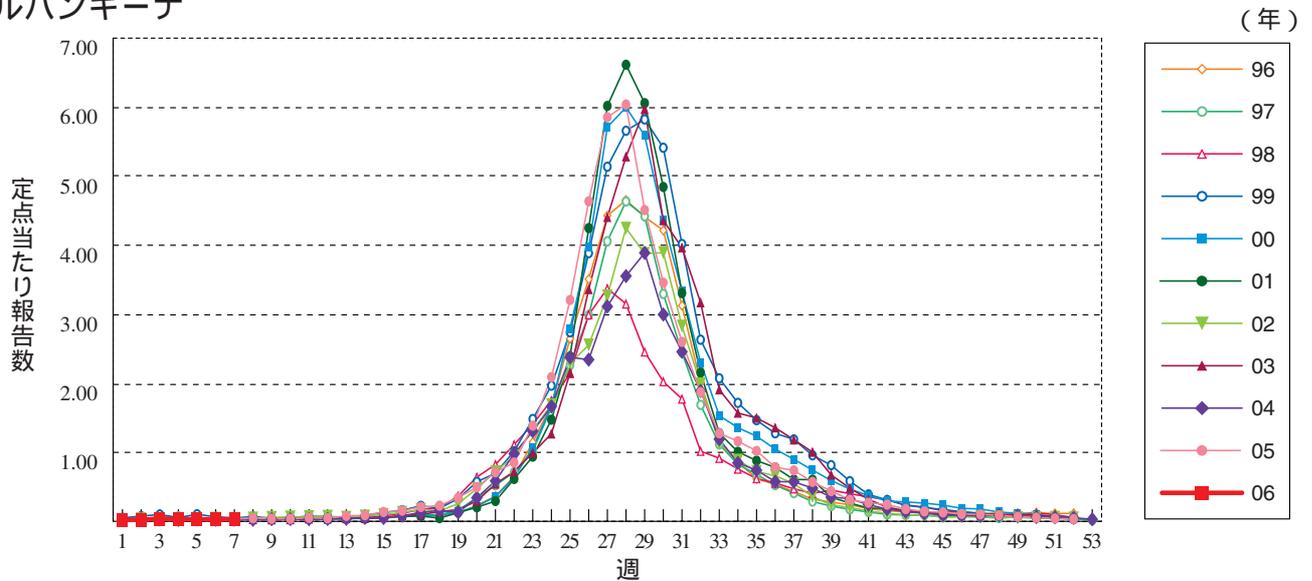
百日咳



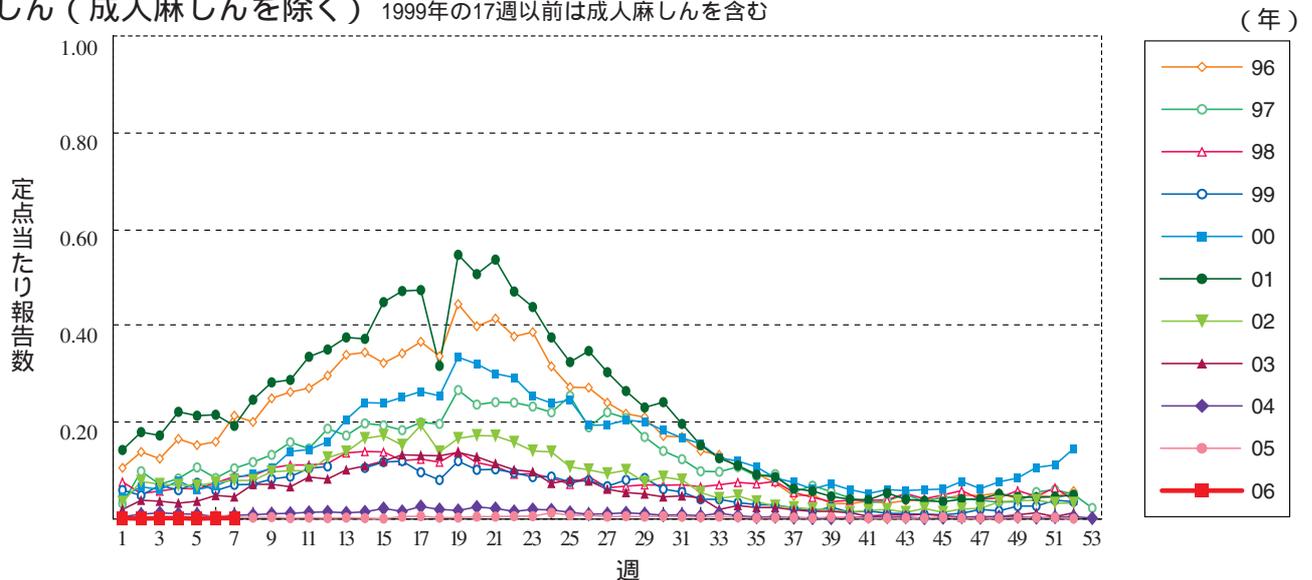
風しん



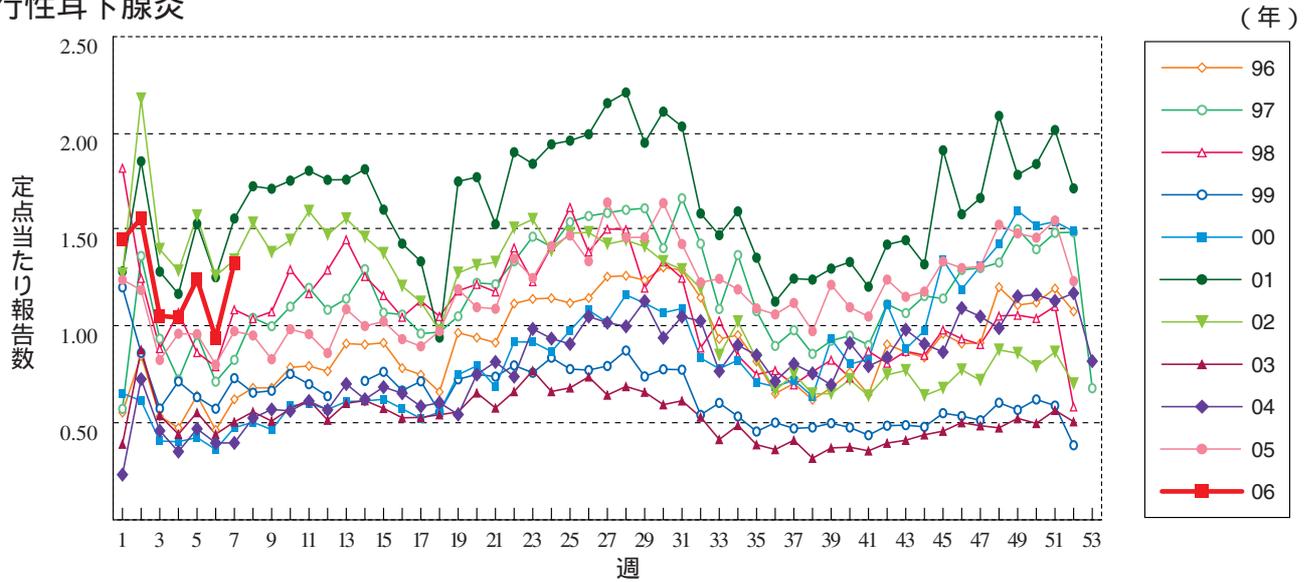
ヘルパンギーナ



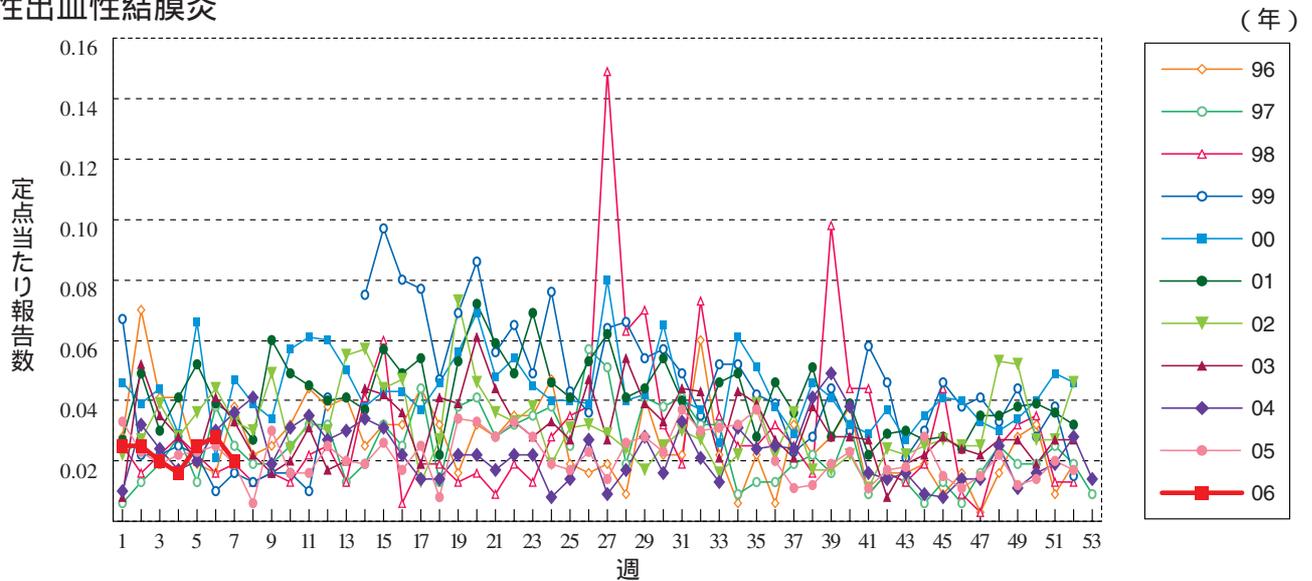
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の17週以前は成人麻疹を含む



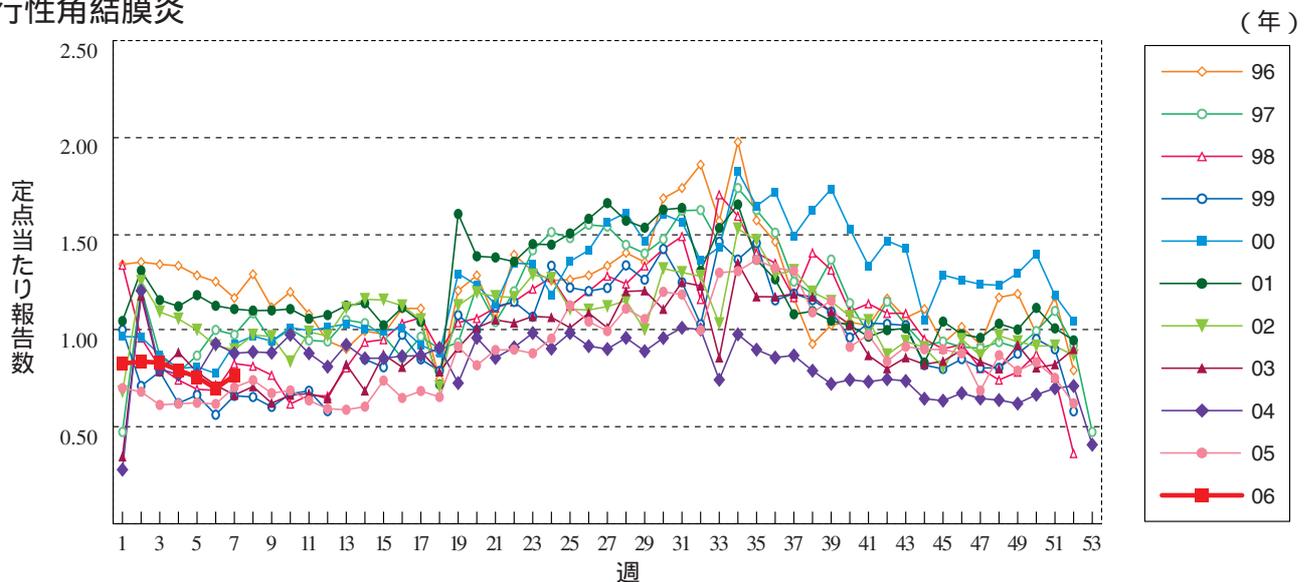
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

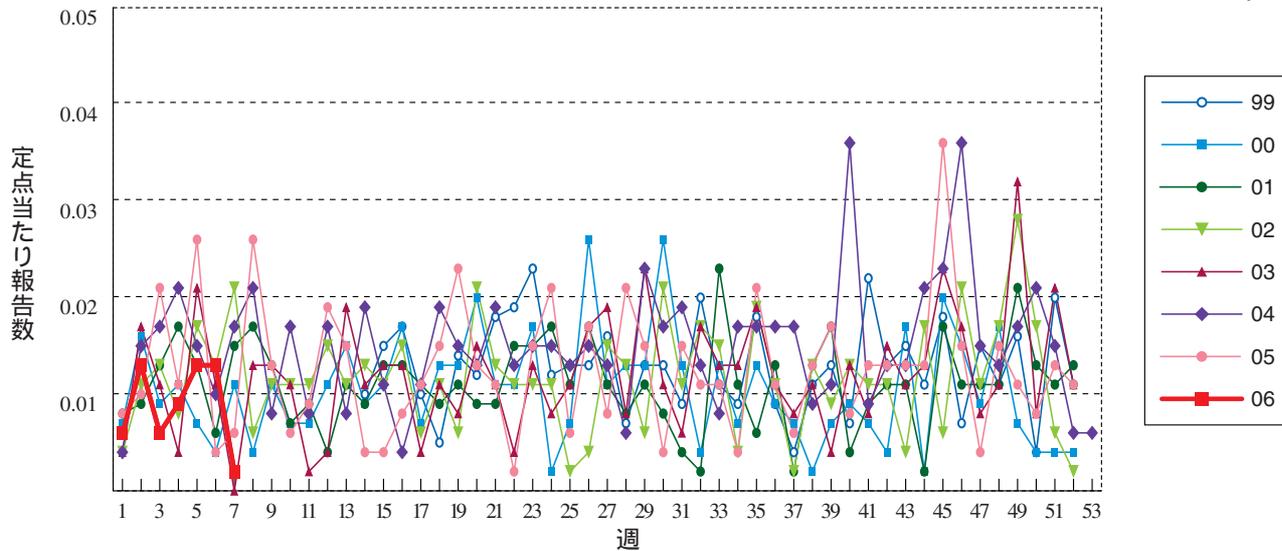


流行性角結膜炎



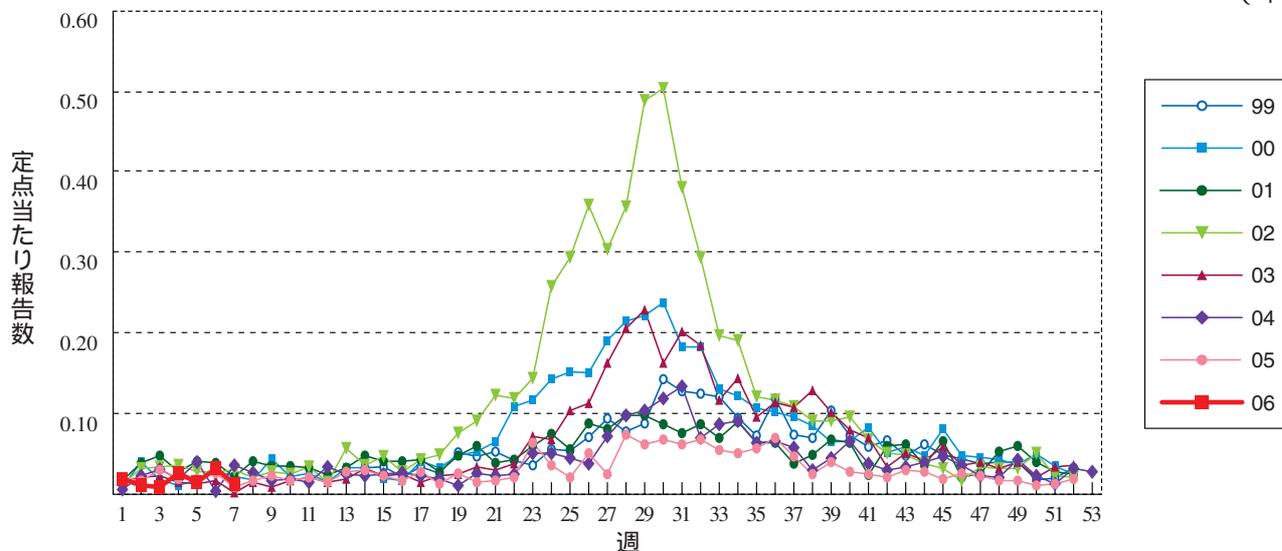
細菌性髄膜炎

(年)



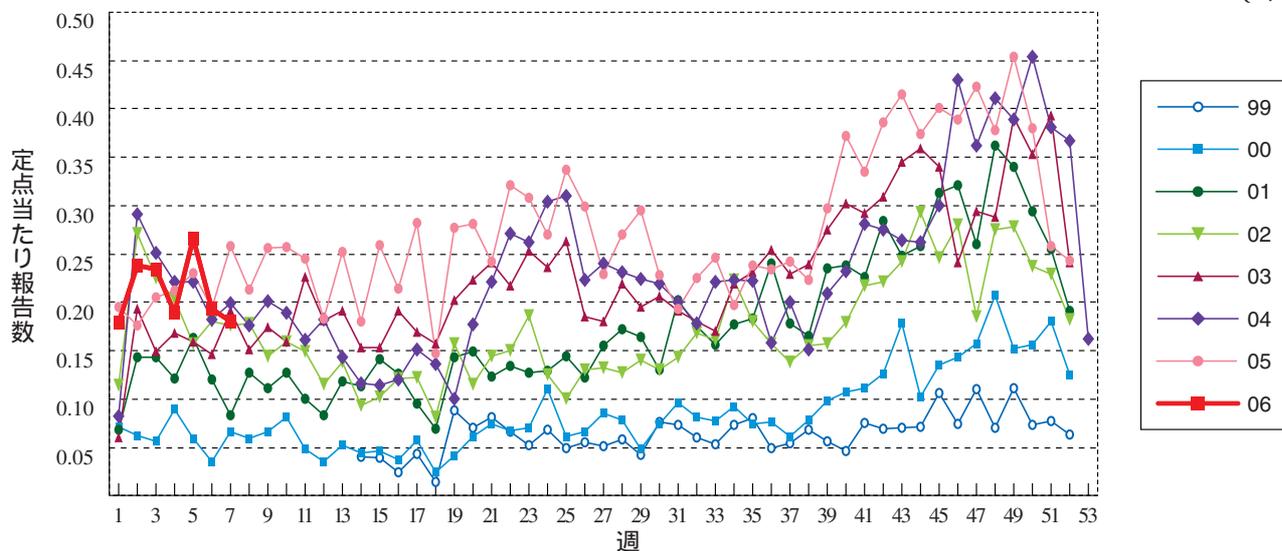
無菌性髄膜炎

(年)



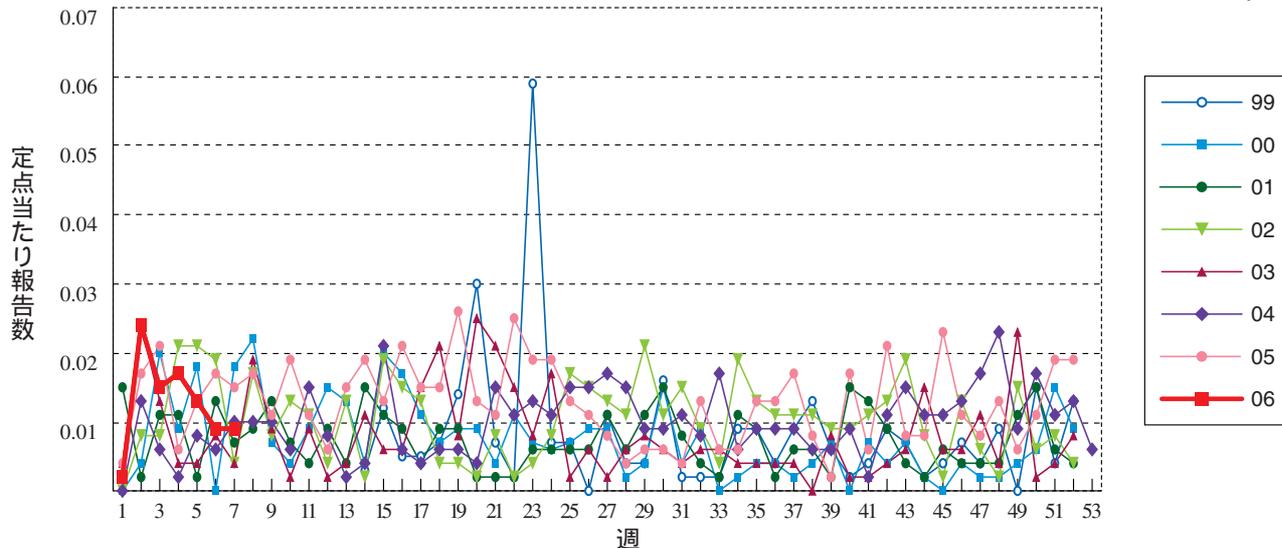
マイコプラズマ肺炎

(年)



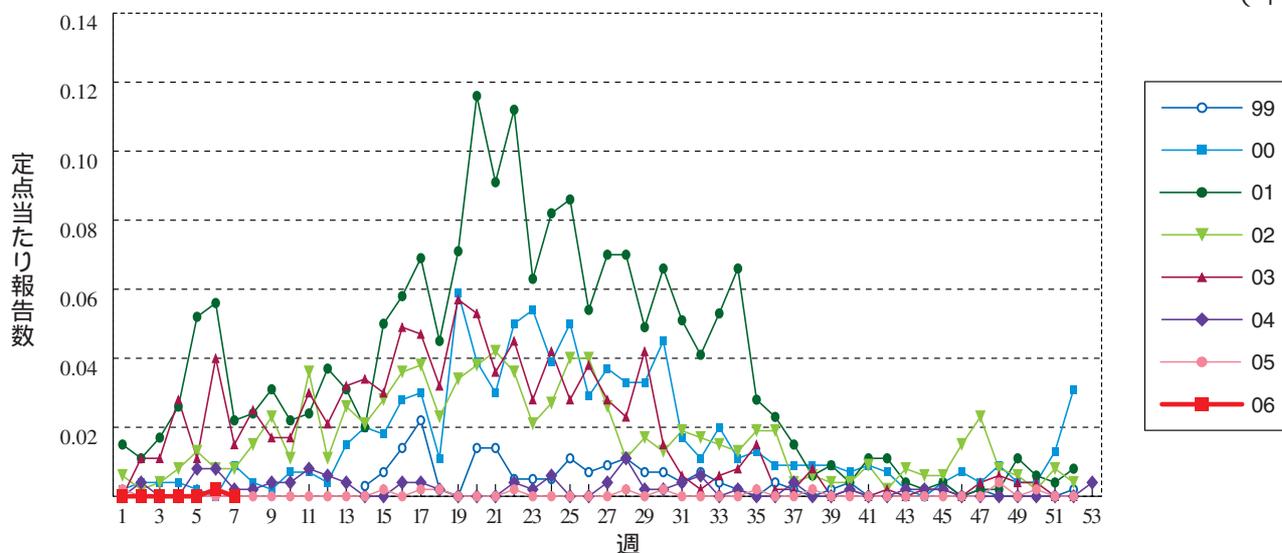
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



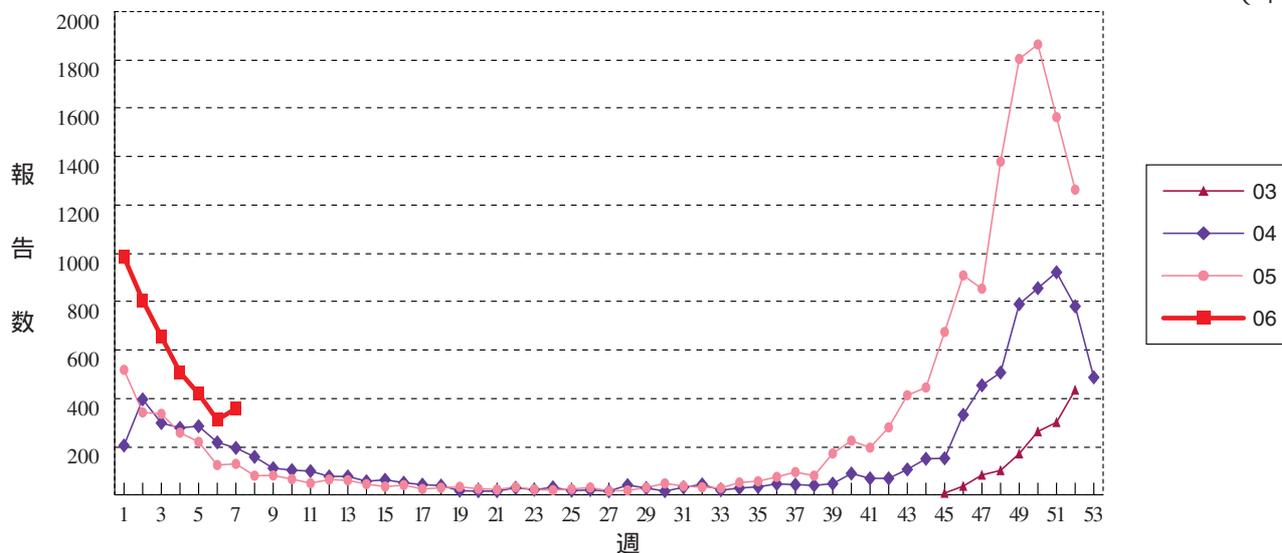
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

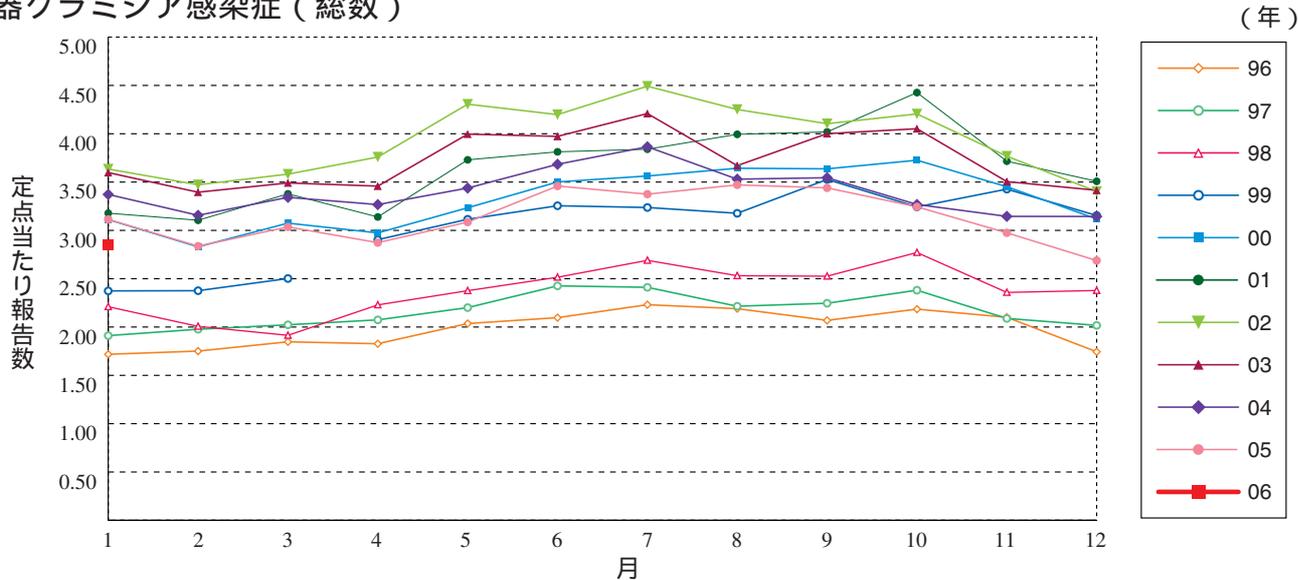




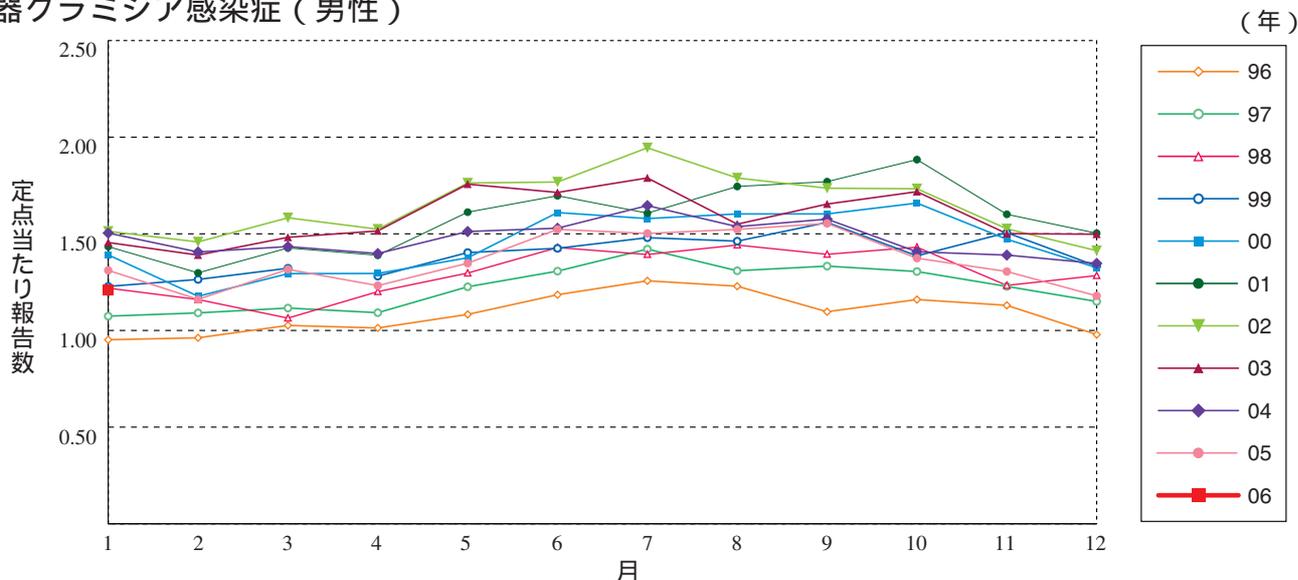
グラフ総覧(1月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

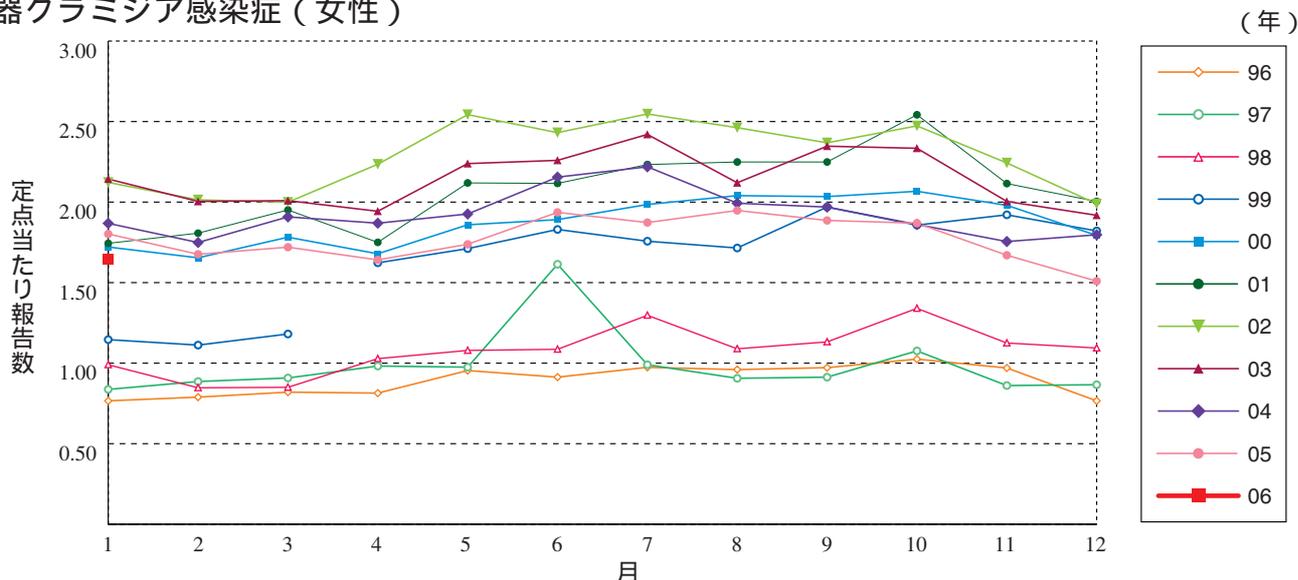
性器クラミジア感染症(総数)



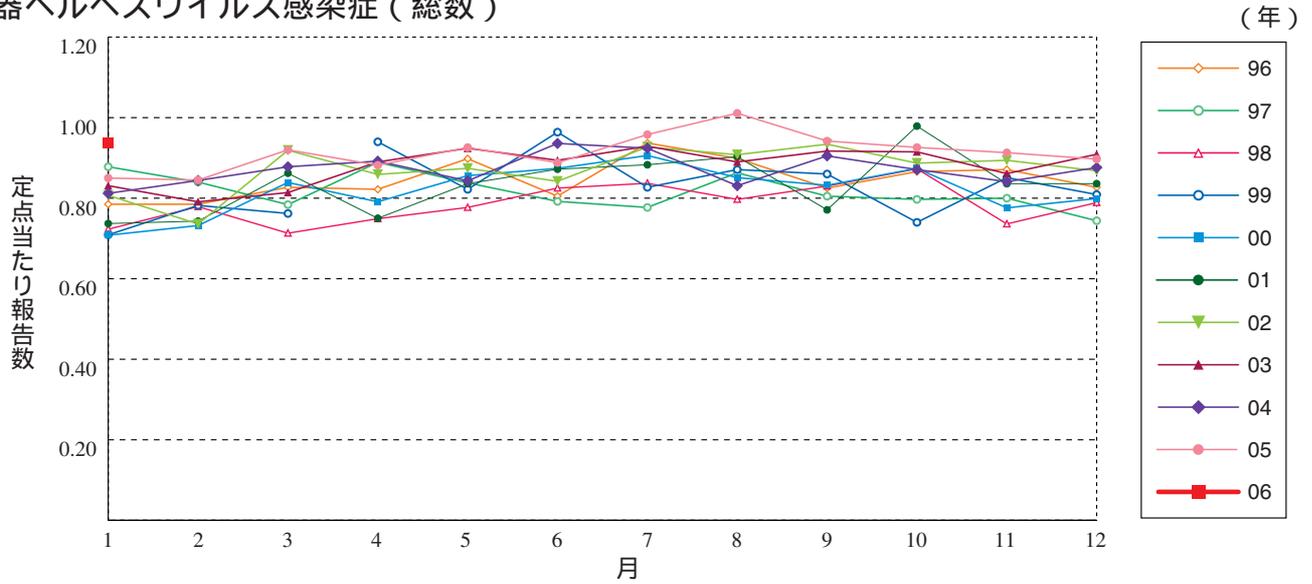
性器クラミジア感染症(男性)



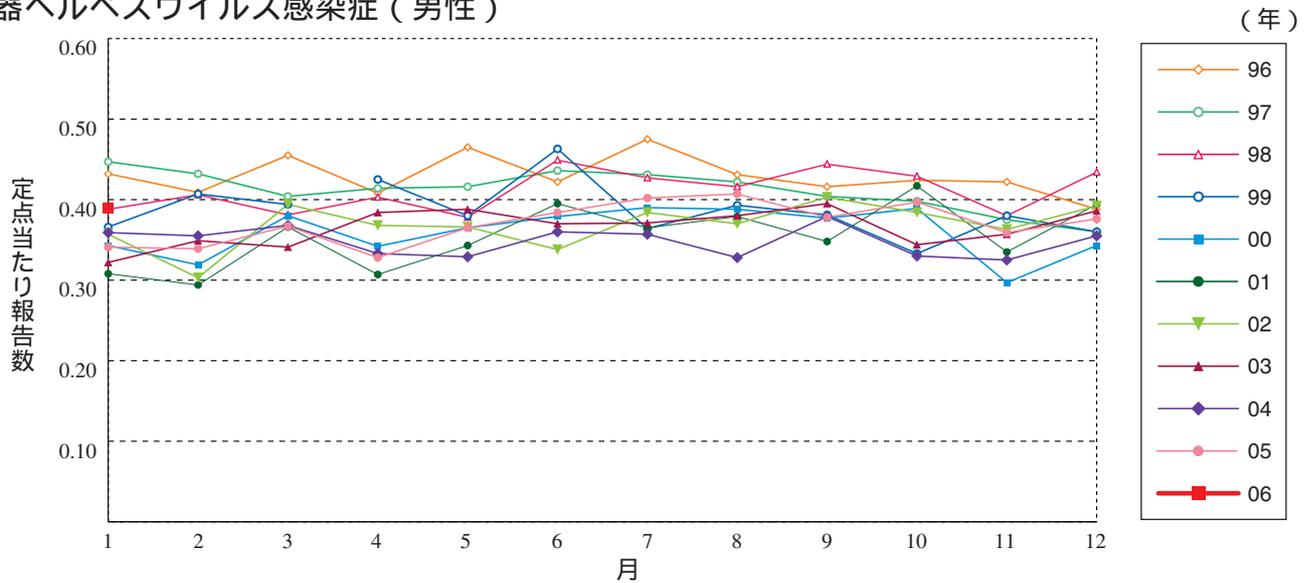
性器クラミジア感染症(女性)



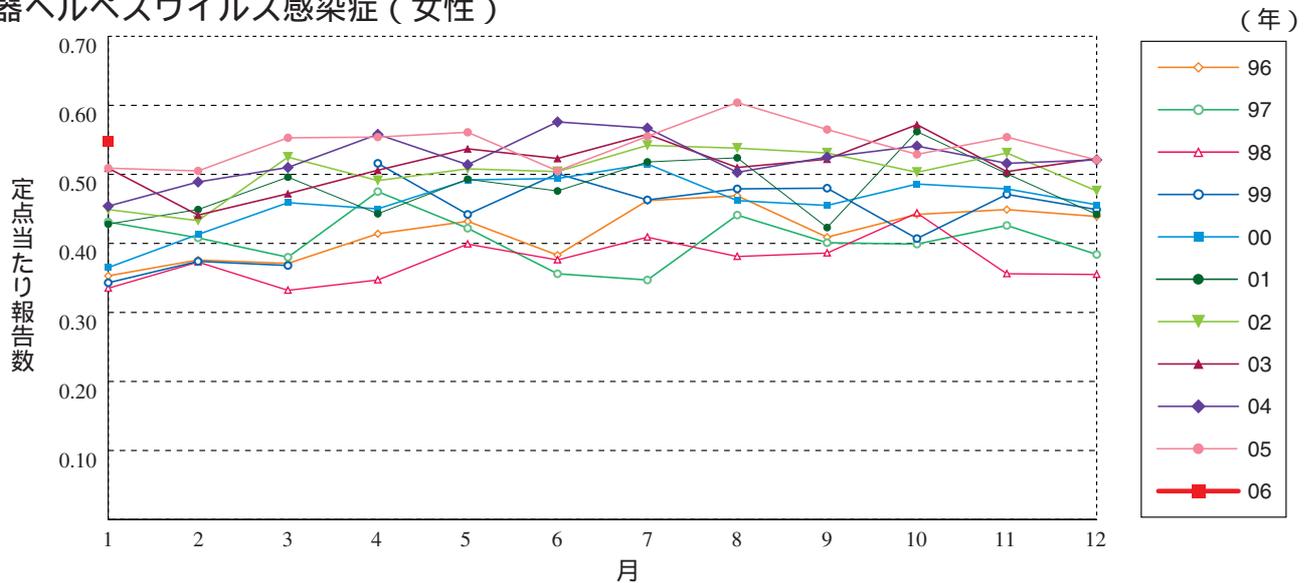
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



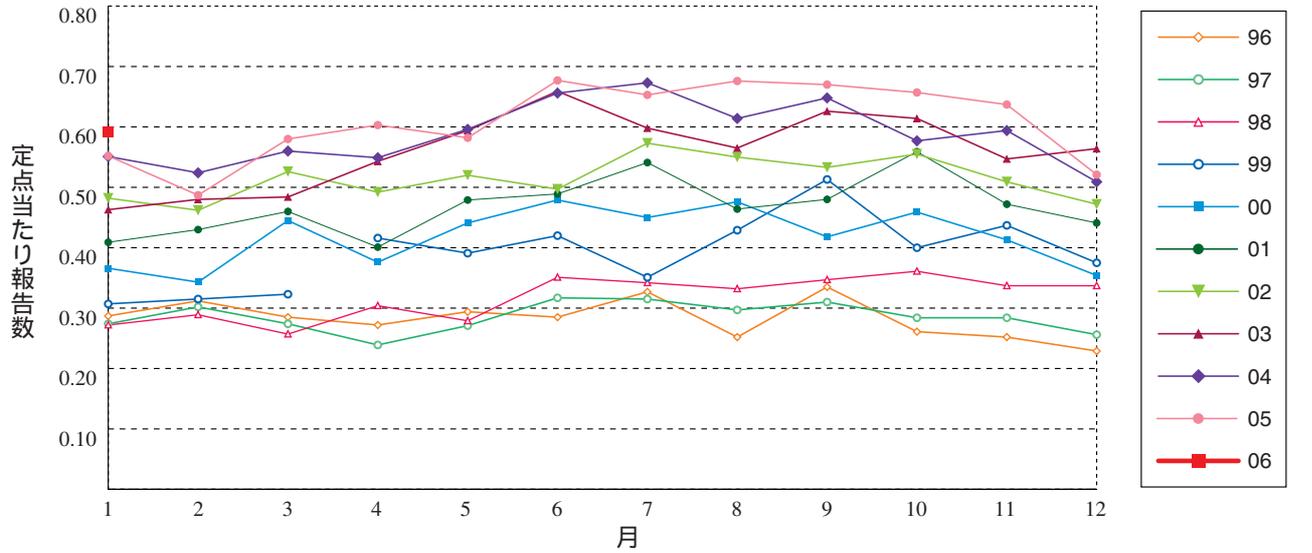
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



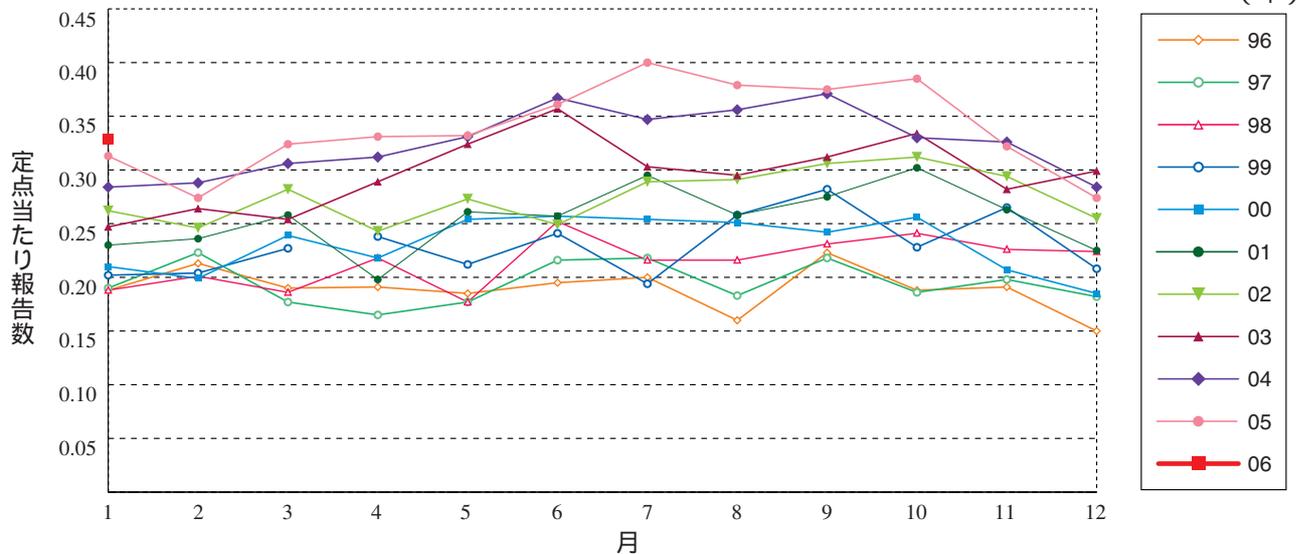
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



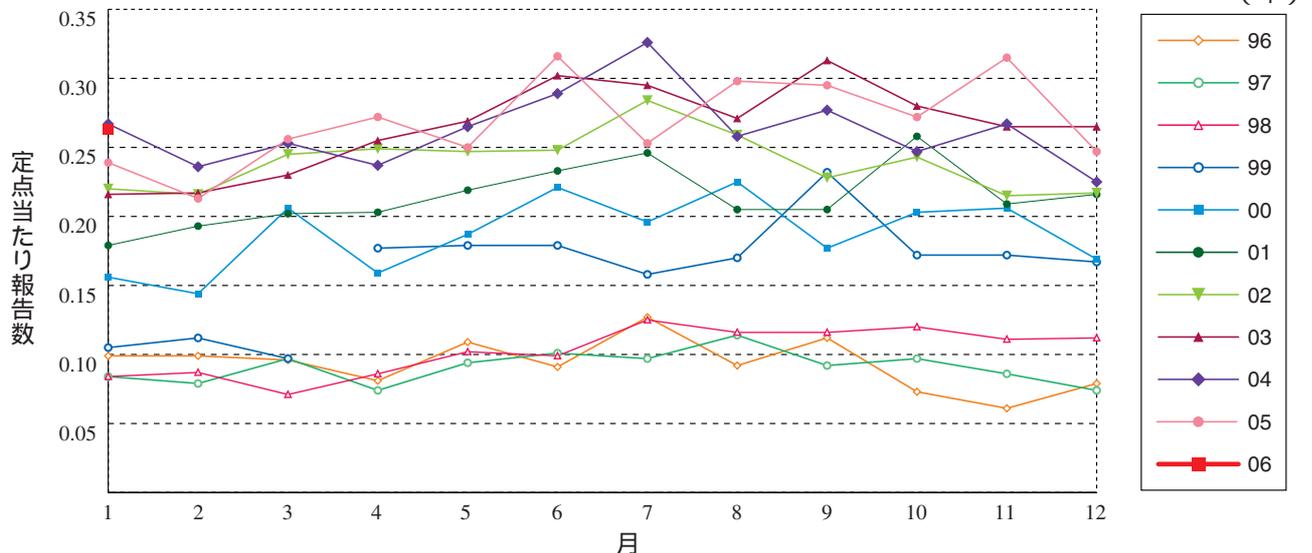
尖圭コンジローマ (総数)



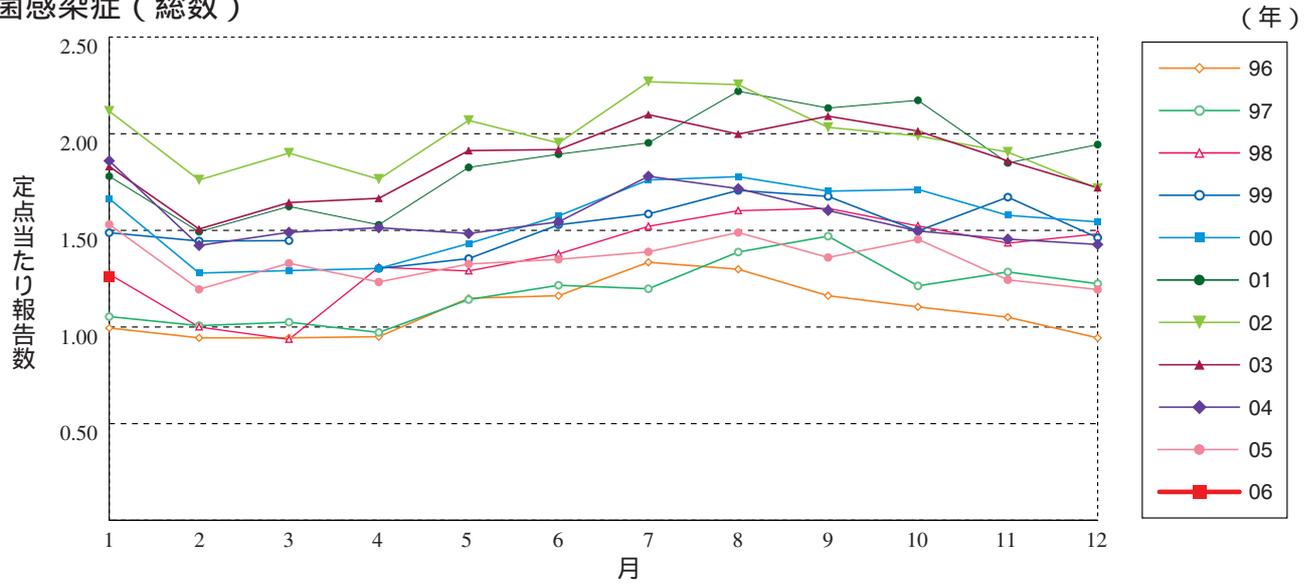
尖圭コンジローマ (男性)



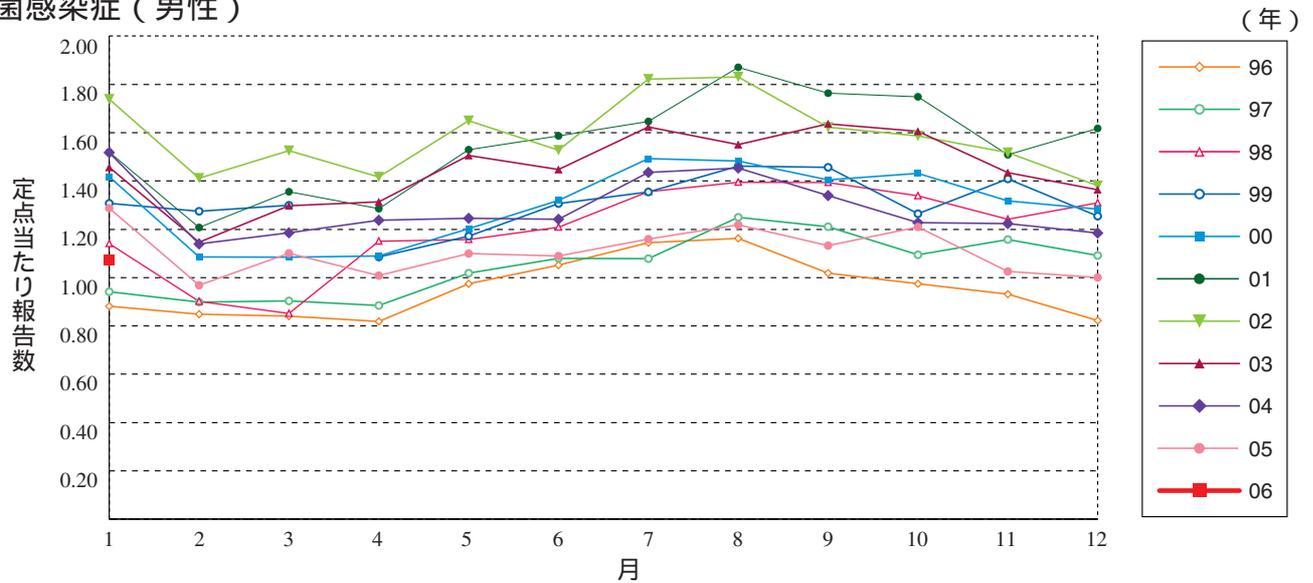
尖圭コンジローマ (女性)



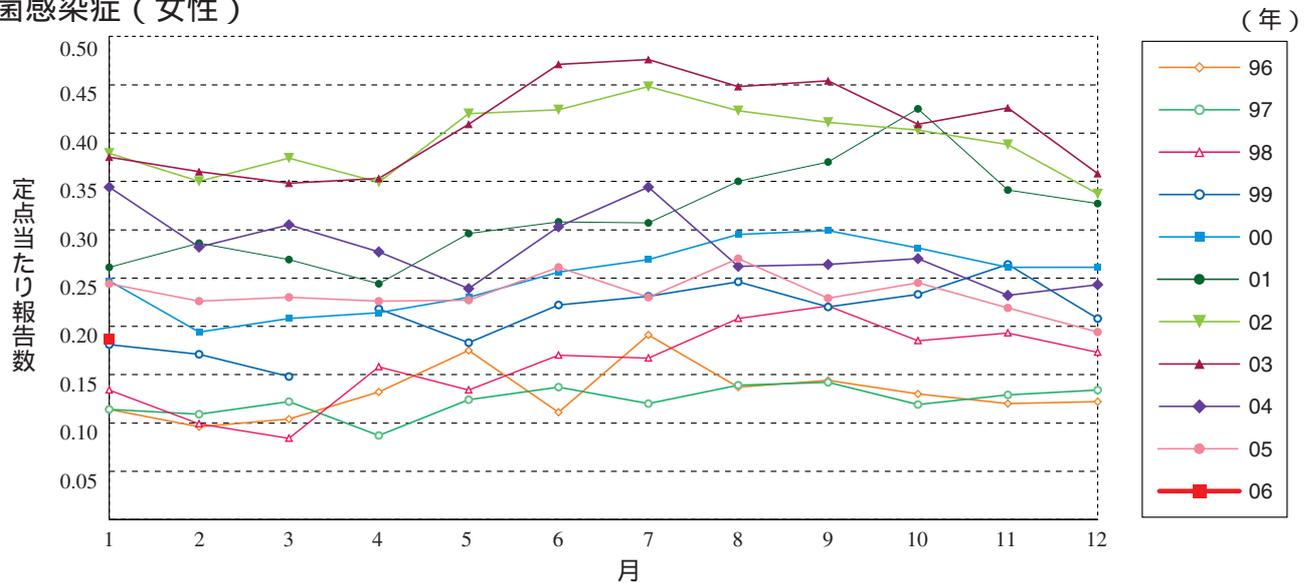
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

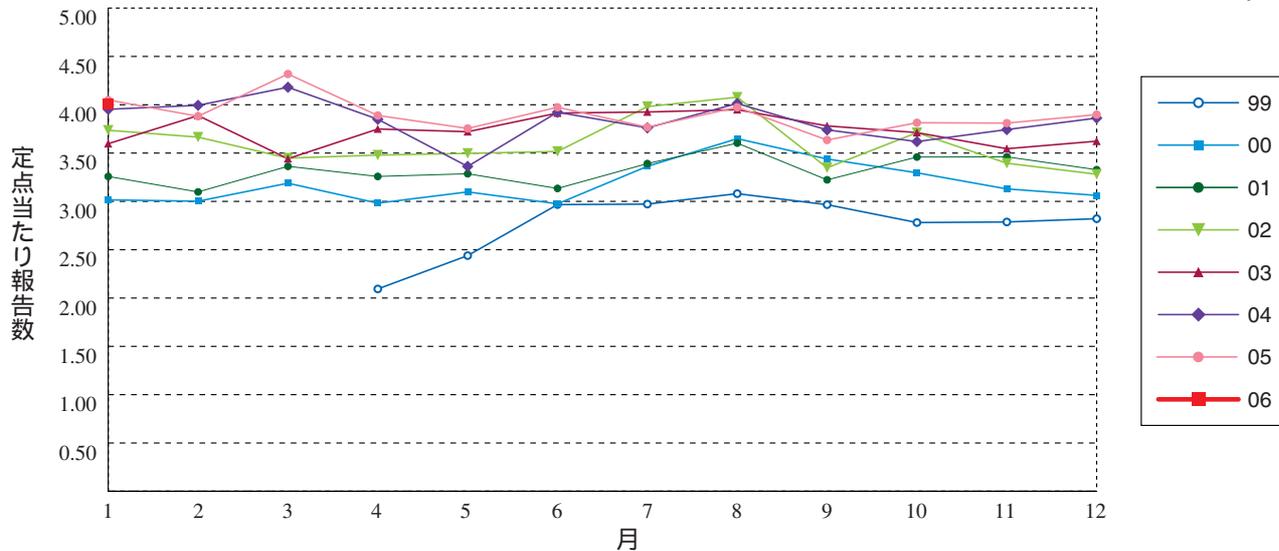


淋菌感染症 (女性)



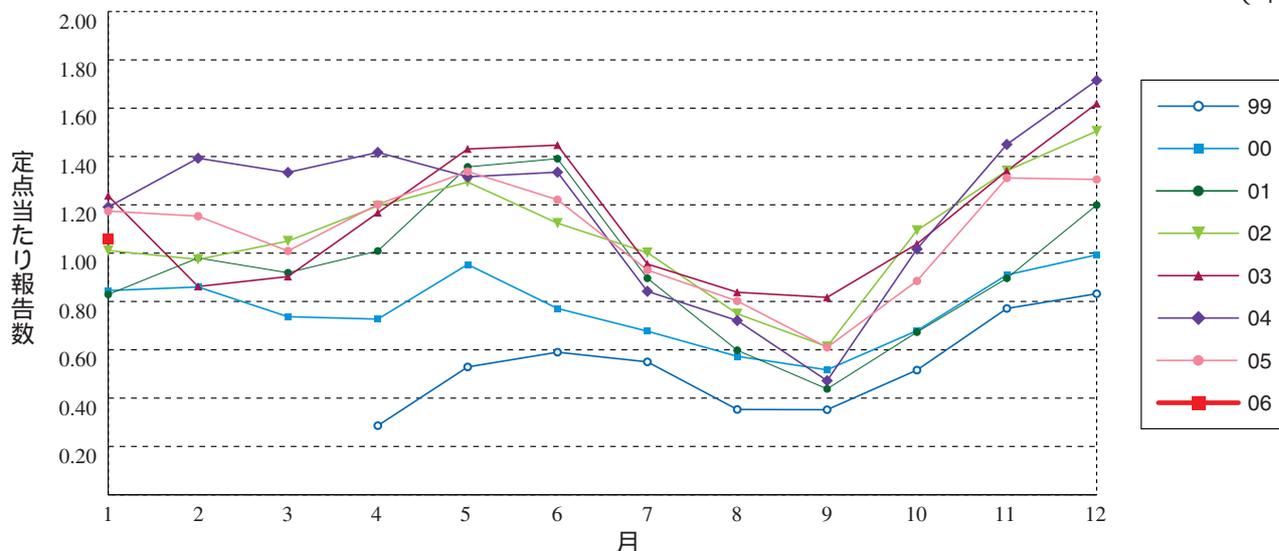
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



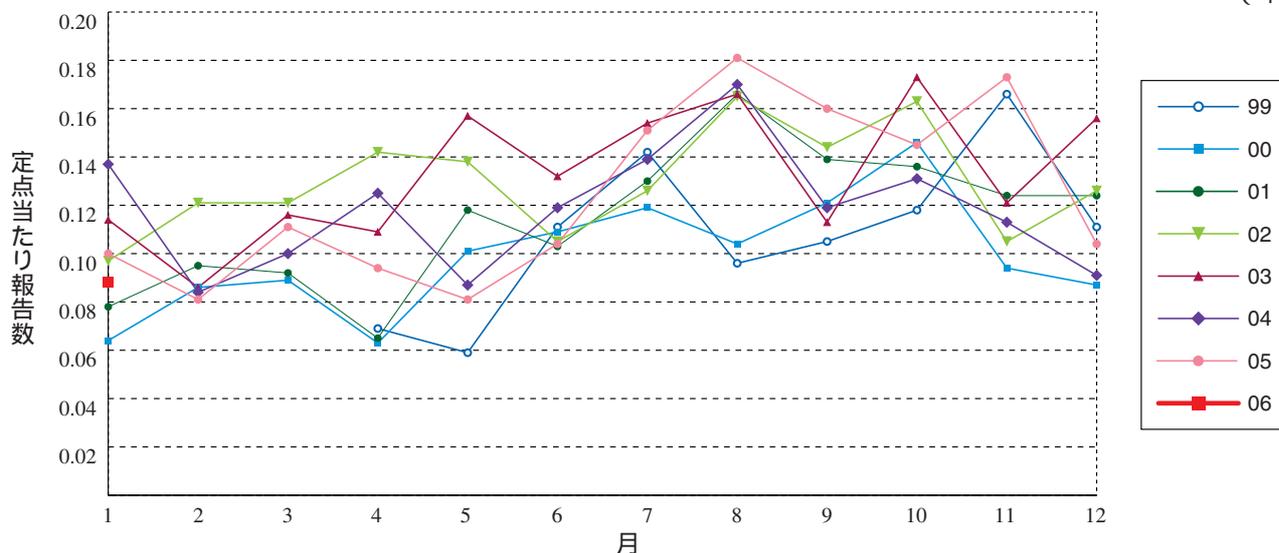
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





1月のデータ 注 2月14日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成18年1月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2612	2.85	859	0.94	542	0.59	1153	1.26	1866	4.01	493	1.06	41	0.09
北海道	204	4.86	47	1.12	33	0.79	55	1.31	58	2.52	-	-	-	-
青森県	30	2.31	6	0.46	10	0.77	9	0.69	9	1.50	-	-	-	-
岩手県	53	4.08	16	1.23	13	1.00	13	1.00	98	4.90	4	0.20	4	0.20
宮城県	57	3.56	17	1.06	23	1.44	30	1.88	21	1.91	10	0.91	2	0.18
秋田県	32	2.29	5	0.36	5	0.36	12	0.86	21	3.00	4	0.57	-	-
山形県	15	1.50	5	0.50	3	0.30	9	0.90	33	3.30	12	1.20	-	-
福島県	48	3.00	13	0.81	11	0.69	24	1.50	20	3.33	3	0.50	-	-
茨城県	124	5.90	19	0.90	8	0.38	18	0.86	23	2.30	7	0.70	-	-
栃木県	36	2.25	16	1.00	19	1.19	13	0.81	67	9.57	1	0.14	-	-
群馬県	125	4.81	22	0.85	7	0.27	48	1.85	47	5.88	10	1.25	2	0.25
埼玉県	186	3.44	39	0.72	17	0.31	50	0.93	18	2.00	5	0.56	1	0.11
千葉県	90	2.31	29	0.74	17	0.44	28	0.72	31	3.44	71	7.89	-	-
東京都	164	4.00	104	2.54	55	1.34	76	1.85	126	5.04	56	2.24	6	0.24
神奈川県	117	1.95	41	0.68	22	0.37	39	0.65	43	3.91	20	1.82	-	-
新潟県	31	1.94	13	0.81	12	0.75	17	1.06	79	6.08	9	0.69	1	0.08
富山県	15	1.50	4	0.40	8	0.80	2	0.20	38	7.60	24	4.80	4	0.80
石川県	12	1.20	9	0.90	3	0.30	4	0.40	18	3.60	1	0.20	1	0.20
福井県	2	0.40	2	0.40	1	0.20	4	0.80	28	5.60	6	1.20	-	-
山梨県	9	1.50	4	0.67	2	0.33	-	-	23	2.30	9	0.90	-	-
長野県	39	2.44	9	0.56	11	0.69	21	1.31	33	3.00	8	0.73	-	-
岐阜県	21	1.40	8	0.53	8	0.53	17	1.13	21	4.20	4	0.80	-	-
静岡県	51	1.70	14	0.47	9	0.30	7	0.23	59	5.90	12	1.20	-	-
愛知県	123	2.46	31	0.62	32	0.64	116	2.32	74	5.69	-	-	-	-
三重県	23	1.53	5	0.33	2	0.13	10	0.67	50	5.56	-	-	-	-
滋賀県	17	1.89	-	-	3	0.33	9	1.00	38	5.43	-	-	-	-
京都府	45	1.96	8	0.35	4	0.17	3	0.13	19	2.71	-	-	-	-
大阪府	221	3.75	145	2.46	61	1.03	140	2.37	53	3.79	4	0.29	-	-
兵庫県	91	1.98	50	1.09	34	0.74	43	0.93	33	2.36	5	0.36	2	0.14
奈良県	20	2.22	1	0.11	-	-	16	1.78	35	5.83	3	0.50	4	0.67
和歌山県	14	1.75	3	0.38	5	0.63	6	0.75	32	2.91	9	0.82	-	-
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	5	1.00	22	4.40	1	0.20	-	-
島根県	13	2.17	1	0.17	2	0.33	7	1.17	35	4.38	18	2.25	1	0.13
岡山県	54	3.38	11	0.69	7	0.44	30	1.88	6	1.20	2	0.40	-	-
広島県	39	1.70	12	0.52	12	0.52	15	0.65	110	5.24	42	2.00	4	0.19
山口県	30	2.50	11	0.92	3	0.25	7	0.58	54	6.00	22	2.44	1	0.11
徳島県	5	0.83	4	0.67	4	0.67	5	0.83	23	3.29	-	-	1	0.14
香川県	13	1.86	8	1.14	9	1.29	8	1.14	24	6.00	9	2.25	2	0.50
愛媛県	12	1.09	3	0.27	8	0.73	10	0.91	22	3.67	3	0.50	-	-
高知県	2	0.33	1	0.17	2	0.33	2	0.33	65	9.29	23	3.29	-	-
福岡県	174	4.70	41	1.11	18	0.49	118	3.19	30	1.88	3	0.19	-	-
佐賀県	20	2.86	9	1.29	-	-	13	1.86	27	4.50	7	1.17	-	-
長崎県	25	2.50	12	1.20	7	0.70	7	0.70	9	0.75	9	0.75	2	0.17
熊本県	53	4.08	11	0.85	9	0.69	18	1.38	77	5.13	7	0.47	-	-
大分県	8	0.80	17	1.70	1	0.10	12	1.20	47	4.27	15	1.36	1	0.09
宮崎県	37	3.36	10	0.91	4	0.36	21	1.91	19	2.71	18	2.57	-	-
鹿児島県	47	2.94	22	1.38	10	0.63	27	1.69	25	2.08	6	0.50	2	0.17
沖縄県	54	4.50	1	0.08	8	0.67	9	0.75	23	3.29	11	1.57	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成18年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1107	1.21	357	0.39	301	0.33	982	1.07	1239	2.66	285	0.61	26	0.06
北海道	49	1.17	6	0.14	13	0.31	37	0.88	37	1.61	-	-	-	-
青森県	8	0.62	4	0.31	7	0.54	7	0.54	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	16	1.23	9	0.69	6	0.46	10	0.77	68	3.40	2	0.10	2	0.10
宮城県	19	1.19	2	0.13	12	0.75	24	1.50	15	1.36	8	0.73	-	-
秋田県	15	1.07	3	0.21	3	0.21	10	0.71	16	2.29	3	0.43	-	-
山形県	9	0.90	3	0.30	2	0.20	6	0.60	26	2.60	7	0.70	-	-
福島県	16	1.00	2	0.13	5	0.31	21	1.31	17	2.83	2	0.33	-	-
茨城県	60	2.86	3	0.14	4	0.19	11	0.52	14	1.40	2	0.20	-	-
栃木県	21	1.31	12	0.75	15	0.94	12	0.75	55	7.86	-	-	-	-
群馬県	67	2.58	3	0.12	5	0.19	40	1.54	34	4.25	5	0.63	2	0.25
埼玉県	44	0.81	13	0.24	9	0.17	43	0.80	10	1.11	3	0.33	1	0.11
千葉県	42	1.08	17	0.44	12	0.31	27	0.69	25	2.78	33	3.67	-	-
東京都	80	1.95	47	1.15	41	1.00	66	1.61	83	3.32	38	1.52	5	0.20
神奈川県	50	0.83	18	0.30	7	0.12	37	0.62	24	2.18	13	1.18	-	-
新潟県	13	0.81	8	0.50	6	0.38	17	1.06	48	3.69	7	0.54	1	0.08
富山県	6	0.60	-	-	4	0.40	2	0.20	26	5.20	13	2.60	2	0.40
石川県	4	0.40	6	0.60	3	0.30	4	0.40	13	2.60	-	-	-	-
福井県	1	0.20	2	0.40	-	-	4	0.80	16	3.20	3	0.60	-	-
山梨県	-	-	-	-	2	0.33	-	-	14	1.40	5	0.50	-	-
長野県	16	1.00	7	0.44	3	0.19	20	1.25	21	1.91	6	0.55	-	-
岐阜県	12	0.80	6	0.40	5	0.33	17	1.13	13	2.60	4	0.80	-	-
静岡県	15	0.50	6	0.20	9	0.30	7	0.23	31	3.10	8	0.80	-	-
愛知県	88	1.76	20	0.40	25	0.50	103	2.06	54	4.15	-	-	-	-
三重県	6	0.40	4	0.27	1	0.07	10	0.67	29	3.22	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	-	-	1	0.11	9	1.00	25	3.57	-	-	-	-
京都府	9	0.39	3	0.13	1	0.04	1	0.04	13	1.86	-	-	-	-
大阪府	101	1.71	62	1.05	26	0.44	111	1.88	39	2.79	2	0.14	-	-
兵庫県	42	0.91	24	0.52	24	0.52	36	0.78	26	1.86	2	0.14	1	0.07
奈良県	18	2.00	1	0.11	-	-	15	1.67	28	4.67	2	0.33	2	0.33
和歌山県	10	1.25	1	0.13	5	0.63	6	0.75	21	1.91	5	0.45	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	5	1.00	13	2.60	1	0.20	-	-
島根県	7	1.17	1	0.17	-	-	7	1.17	21	2.63	12	1.50	1	0.13
岡山県	19	1.19	1	0.06	3	0.19	22	1.38	5	1.00	-	-	-	-
広島県	17	0.74	6	0.26	1	0.04	14	0.61	68	3.24	22	1.05	3	0.14
山口県	10	0.83	3	0.25	1	0.08	6	0.50	35	3.89	13	1.44	-	-
徳島県	3	0.50	3	0.50	3	0.50	5	0.83	19	2.71	-	-	1	0.14
香川県	7	1.00	5	0.71	6	0.86	8	1.14	16	4.00	5	1.25	2	0.50
愛媛県	5	0.45	1	0.09	5	0.45	10	0.91	11	1.83	1	0.17	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	44	6.29	10	1.43	-	-
福岡県	106	2.86	20	0.54	11	0.30	114	3.08	17	1.06	2	0.13	-	-
佐賀県	14	2.00	3	0.43	-	-	12	1.71	20	3.33	4	0.67	-	-
長崎県	10	1.00	-	-	4	0.40	4	0.40	6	0.50	5	0.42	1	0.08
熊本県	7	0.54	-	-	2	0.15	14	1.08	44	2.93	5	0.33	-	-
大分県	3	0.30	4	0.40	-	-	6	0.60	29	2.64	10	0.91	1	0.09
宮崎県	19	1.73	5	0.45	-	-	18	1.64	14	2.00	13	1.86	-	-
鹿児島県	21	1.31	13	0.81	7	0.44	17	1.06	16	1.33	2	0.17	1	0.08
沖縄県	10	0.83	-	-	2	0.17	6	0.50	17	2.43	7	1.00	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成18年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1505	1.64	502	0.55	241	0.26	171	0.19	627	1.35	208	0.45	15	0.03
北海道	155	3.69	41	0.98	20	0.48	18	0.43	21	0.91	-	-	-	-
青森県	22	1.69	2	0.15	3	0.23	2	0.15	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	37	2.85	7	0.54	7	0.54	3	0.23	30	1.50	2	0.10	2	0.10
宮城県	38	2.38	15	0.94	11	0.69	6	0.38	6	0.55	2	0.18	2	0.18
秋田県	17	1.21	2	0.14	2	0.14	2	0.14	5	0.71	1	0.14	-	-
山形県	6	0.60	2	0.20	1	0.10	3	0.30	7	0.70	5	0.50	-	-
福島県	32	2.00	11	0.69	6	0.38	3	0.19	3	0.50	1	0.17	-	-
茨城県	64	3.05	16	0.76	4	0.19	7	0.33	9	0.90	5	0.50	-	-
栃木県	15	0.94	4	0.25	4	0.25	1	0.06	12	1.71	1	0.14	-	-
群馬県	58	2.23	19	0.73	2	0.08	8	0.31	13	1.63	5	0.63	-	-
埼玉県	142	2.63	26	0.48	8	0.15	7	0.13	8	0.89	2	0.22	-	-
千葉県	48	1.23	12	0.31	5	0.13	1	0.03	6	0.67	38	4.22	-	-
東京都	84	2.05	57	1.39	14	0.34	10	0.24	43	1.72	18	0.72	1	0.04
神奈川県	67	1.12	23	0.38	15	0.25	2	0.03	19	1.73	7	0.64	-	-
新潟県	18	1.13	5	0.31	6	0.38	-	-	31	2.38	2	0.15	-	-
富山県	9	0.90	4	0.40	4	0.40	-	-	12	2.40	11	2.20	2	0.40
石川県	8	0.80	3	0.30	-	-	-	-	5	1.00	1	0.20	1	0.20
福井県	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	12	2.40	3	0.60	-	-
山梨県	9	1.50	4	0.67	-	-	-	-	9	0.90	4	0.40	-	-
長野県	23	1.44	2	0.13	8	0.50	1	0.06	12	1.09	2	0.18	-	-
岐阜県	9	0.60	2	0.13	3	0.20	-	-	8	1.60	-	-	-	-
静岡県	36	1.20	8	0.27	-	-	-	-	28	2.80	4	0.40	-	-
愛知県	35	0.70	11	0.22	7	0.14	13	0.26	20	1.54	-	-	-	-
三重県	17	1.13	1	0.07	1	0.07	-	-	21	2.33	-	-	-	-
滋賀県	12	1.33	-	-	2	0.22	-	-	13	1.86	-	-	-	-
京都府	36	1.57	5	0.22	3	0.13	2	0.09	6	0.86	-	-	-	-
大阪府	120	2.03	83	1.41	35	0.59	29	0.49	14	1.00	2	0.14	-	-
兵庫県	49	1.07	26	0.57	10	0.22	7	0.15	7	0.50	3	0.21	1	0.07
奈良県	2	0.22	-	-	-	-	1	0.11	7	1.17	1	0.17	2	0.33
和歌山県	4	0.50	2	0.25	-	-	-	-	11	1.00	4	0.36	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-	-
島根県	6	1.00	-	-	2	0.33	-	-	14	1.75	6	0.75	-	-
岡山県	35	2.19	10	0.63	4	0.25	8	0.50	1	0.20	2	0.40	-	-
広島県	22	0.96	6	0.26	11	0.48	1	0.04	42	2.00	20	0.95	1	0.05
山口県	20	1.67	8	0.67	2	0.17	1	0.08	19	2.11	9	1.00	1	0.11
徳島県	2	0.33	1	0.17	1	0.17	-	-	4	0.57	-	-	-	-
香川県	6	0.86	3	0.43	3	0.43	-	-	8	2.00	4	1.00	-	-
愛媛県	7	0.64	2	0.18	3	0.27	-	-	11	1.83	2	0.33	-	-
高知県	1	0.17	1	0.17	2	0.33	1	0.17	21	3.00	13	1.86	-	-
福岡県	68	1.84	21	0.57	7	0.19	4	0.11	13	0.81	1	0.06	-	-
佐賀県	6	0.86	6	0.86	-	-	1	0.14	7	1.17	3	0.50	-	-
長崎県	15	1.50	12	1.20	3	0.30	3	0.30	3	0.25	4	0.33	1	0.08
熊本県	46	3.54	11	0.85	7	0.54	4	0.31	33	2.20	2	0.13	-	-
大分県	5	0.50	13	1.30	1	0.10	6	0.60	18	1.64	5	0.45	-	-
宮崎県	18	1.64	5	0.45	4	0.36	3	0.27	5	0.71	5	0.71	-	-
鹿児島県	26	1.63	9	0.56	3	0.19	10	0.63	9	0.75	4	0.33	1	0.08
沖縄県	44	3.67	1	0.08	6	0.50	3	0.25	6	0.86	4	0.57	-	-

注 2月22日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成18年1月

	結核
	報告数
総数	1805
北海道	48
青森県	22
岩手県	17
宮城県	20
秋田県	13
山形県	5
福島県	12
茨城県	43
栃木県	21
群馬県	16
埼玉県	81
千葉県	95
東京都	249
神奈川県	111
新潟県	25
富山県	17
石川県	15
福井県	8
山梨県	9
長野県	19
岐阜県	29
静岡県	60
愛知県	114
三重県	24
滋賀県	15
京都府	41
大阪府	218
兵庫県	95
奈良県	24
和歌山県	14
鳥取県	9
島根県	9
岡山県	21
広島県	23
山口県	13
徳島県	13
香川県	15
愛媛県	17
高知県	8
福岡県	73
佐賀県	8
長崎県	26
熊本県	23
大分県	18
宮崎県	15
鹿児島県	18
沖縄県	16



7週のデータ

注)表中の報告数は2月23日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成18年7週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	54	1	9	-	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	5	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	61	4	66	-	5	-	-	-	4	-	-	-	24
北海道	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	1	8	1	19	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	2	5	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	4	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	4	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	23	3	19	14	128	-	-	-	8	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	5	-	-	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	6	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	2	4	42	-	-	-	1	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	5	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	9	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	12	1	4	-	-	-	-	5	60	2	5	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	1	1	
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	1	1	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	8	49
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	9	-	-	3	38	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 平成18年7週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	36	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成18年7週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	81683	17.42	841	0.28	7228	2.38	27613	9.08	6443	2.12	250	0.08	753	0.25	1756	0.58	13	0.00
北海道	5380	23.49	30	0.21	481	3.29	457	3.13	223	1.53	2	0.01	5	0.03	52	0.36	-	-
青森県	752	11.57	3	0.07	32	0.74	167	3.88	102	2.37	3	0.07	53	1.23	13	0.30	-	-
岩手県	684	10.86	1	0.03	82	2.16	257	6.76	81	2.13	6	0.16	3	0.08	16	0.42	-	-
宮城県	1040	11.43	15	0.27	186	3.32	639	11.41	133	2.38	5	0.09	16	0.29	57	1.02	-	-
秋田県	794	14.70	10	0.29	88	2.59	291	8.56	65	1.91	6	0.18	13	0.38	15	0.44	1	0.03
山形県	455	9.48	17	0.57	167	5.57	225	7.50	51	1.70	1	0.03	10	0.33	22	0.73	-	-
福島県	1043	13.04	13	0.27	162	3.38	433	9.02	115	2.40	8	0.17	55	1.15	28	0.58	-	-
茨城県	1759	14.91	18	0.24	279	3.77	416	5.62	112	1.51	1	0.01	28	0.38	20	0.27	1	0.01
栃木県	1280	18.29	3	0.07	40	0.87	307	6.67	59	1.28	2	0.04	7	0.15	19	0.41	1	0.02
群馬県	2143	21.43	6	0.10	88	1.42	593	9.56	105	1.69	2	0.03	7	0.11	39	0.63	-	-
埼玉県	6121	23.82	24	0.15	603	3.75	1740	10.81	304	1.89	5	0.03	55	0.34	105	0.65	1	0.01
千葉県	4002	18.88	13	0.10	474	3.59	1076	8.15	204	1.55	2	0.02	37	0.28	82	0.62	1	0.01
東京都	2610	14.66	34	0.24	300	2.11	1120	7.89	193	1.36	5	0.04	43	0.30	77	0.54	1	0.01
神奈川県	7189	21.52	32	0.16	547	2.67	1667	8.13	323	1.58	16	0.08	57	0.28	138	0.67	-	-
新潟県	2277	23.23	32	0.52	389	6.27	762	12.29	143	2.31	1	0.02	2	0.03	33	0.53	-	-
富山県	1643	34.23	5	0.17	85	2.93	365	12.59	59	2.03	-	-	2	0.07	10	0.34	-	-
石川県	1428	29.75	11	0.38	130	4.48	328	11.31	75	2.59	4	0.14	2	0.07	23	0.79	-	-
福井県	762	23.81	20	0.91	92	4.18	272	12.36	43	1.95	7	0.32	1	0.05	17	0.77	-	-
山梨県	424	10.34	1	0.04	44	1.76	166	6.64	29	1.16	2	0.08	3	0.12	2	0.08	-	-
長野県	3287	37.35	14	0.25	168	3.05	430	7.82	113	2.05	1	0.02	12	0.22	25	0.45	-	-
岐阜県	1891	21.74	58	1.09	69	1.30	238	4.49	85	1.60	15	0.28	9	0.17	21	0.40	-	-
静岡県	2824	20.61	19	0.22	159	1.85	874	10.16	200	2.33	5	0.06	13	0.15	60	0.70	-	-
愛知県	7155	36.69	23	0.13	325	1.79	1167	6.41	287	1.58	54	0.30	30	0.16	92	0.51	-	-
三重県	1572	21.53	17	0.38	82	1.82	626	13.91	112	2.49	7	0.16	11	0.24	35	0.78	-	-
滋賀県	857	16.80	1	0.03	48	1.50	166	5.19	42	1.31	2	0.06	2	0.06	9	0.28	-	-
京都府	1210	9.92	3	0.04	85	1.13	426	5.68	80	1.07	5	0.07	19	0.25	19	0.25	-	-
大阪府	3573	12.41	66	0.33	303	1.53	1336	6.75	435	2.20	18	0.09	26	0.13	107	0.54	1	0.01
兵庫県	2632	13.64	54	0.43	218	1.73	1182	9.38	362	2.87	19	0.15	22	0.17	68	0.54	-	-
奈良県	773	14.05	3	0.09	36	1.03	196	5.60	49	1.40	1	0.03	-	-	15	0.43	-	-
和歌山県	551	11.02	23	0.74	41	1.32	391	12.61	64	2.06	1	0.03	5	0.16	23	0.74	-	-
鳥取県	369	12.72	7	0.37	79	4.16	201	10.58	82	4.32	2	0.11	15	0.79	13	0.68	-	-
島根県	589	16.36	20	0.87	24	1.04	291	12.65	38	1.65	8	0.35	17	0.74	19	0.83	-	-
岡山県	305	3.67	7	0.13	65	1.20	748	13.85	101	1.87	-	-	2	0.04	27	0.50	-	-
広島県	1108	9.81	17	0.24	168	2.37	988	13.92	163	2.30	-	-	18	0.25	36	0.51	3	0.04
山口県	724	10.34	9	0.18	145	2.96	849	17.33	174	3.55	-	-	11	0.22	42	0.86	-	-
徳島県	559	14.71	4	0.17	21	0.91	159	6.91	37	1.61	-	-	5	0.22	9	0.39	-	-
香川県	368	7.22	22	0.69	19	0.59	287	8.97	48	1.50	7	0.22	6	0.19	24	0.75	-	-
愛媛県	1435	23.52	10	0.27	53	1.43	660	17.84	105	2.84	2	0.05	2	0.05	45	1.22	-	-
高知県	1548	31.59	3	0.10	16	0.52	189	6.10	81	2.61	1	0.03	-	-	12	0.39	-	-
福岡県	1419	7.17	43	0.36	392	3.27	1802	15.02	464	3.87	7	0.06	51	0.43	104	0.87	-	-
佐賀県	295	7.56	22	0.96	24	1.04	301	13.09	69	3.00	5	0.22	10	0.43	31	1.35	-	-
長崎県	1186	17.44	8	0.18	32	0.73	554	12.59	139	3.16	3	0.07	4	0.09	22	0.50	-	-
熊本県	657	8.11	12	0.24	66	1.35	564	11.51	148	3.02	3	0.06	35	0.71	45	0.92	-	-
大分県	910	15.69	19	0.53	106	2.94	591	16.42	111	3.08	3	0.08	9	0.25	16	0.44	1	0.03
宮崎県	521	8.68	25	0.68	106	2.86	612	16.54	166	4.49	-	-	6	0.16	32	0.86	-	-
鹿児島県	565	6.08	33	0.59	85	1.52	496	8.86	175	3.13	3	0.05	12	0.21	29	0.52	-	-
沖縄県	1014	17.48	11	0.32	24	0.71	8	0.24	94	2.76	-	-	2	0.06	8	0.24	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	9	0.00	93	0.03	6	0.00	4041	1.33	13	0.02	495	0.77	1	0.00	6	0.01	84	0.18
北海道	-	-	1	0.01	-	-	150	1.03	-	-	14	0.47	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	55	1.28	-	-	2	0.18	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	5	0.13	-	-	20	0.53	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	-	-	-	-	-	-	96	1.71	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.36
秋田県	-	-	3	0.09	-	-	14	0.41	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.25
山形県	-	-	-	-	-	-	114	3.80	1	0.13	10	1.25	-	-	-	-	2	0.20
福島県	1	0.02	3	0.06	-	-	104	2.17	-	-	15	1.25	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	-	-	2	0.03	-	-	117	1.58	-	-	20	1.25	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	1	0.02	-	-	-	-	28	0.61	1	0.08	19	1.58	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	56	0.90	1	0.07	32	2.29	-	-	-	-	3	0.33
埼玉県	-	-	8	0.05	-	-	204	1.27	-	-	25	0.63	-	-	-	-	6	0.67
千葉県	-	-	3	0.02	1	0.01	100	0.76	2	0.06	17	0.50	-	-	-	-	1	0.11
東京都	-	-	7	0.05	-	-	96	0.68	-	-	1	0.07	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	3	0.01	1	0.00	188	0.92	1	0.02	67	1.60	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	83	1.34	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	-	-	-	-	42	1.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	1	0.03	-	-	76	2.62	-	-	8	1.14	-	-	1	0.20	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-	11	0.50	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	36	1.44	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	-	-	-	-	192	3.49	-	-	10	0.83	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	1	0.02	2	0.04	-	-	28	0.53	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	-	-	156	1.81	-	-	12	0.60	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	-	-	1	0.01	2	0.01	139	0.76	2	0.06	15	0.43	-	-	-	-	5	0.38
三重県	-	-	-	-	-	-	47	1.04	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	17	0.53	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	2	0.03	-	-	68	0.91	-	-	10	0.56	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	-	-	8	0.04	1	0.01	140	0.71	-	-	15	0.29	-	-	-	-	8	0.57
兵庫県	1	0.01	1	0.01	1	0.01	80	0.63	1	0.03	24	0.69	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	33	0.94	1	0.11	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	71	2.29	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	77	4.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	3	0.13	-	-	49	2.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	111	2.06	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	1	0.01	-	-	135	1.90	-	-	24	1.26	-	-	2	0.10	2	0.10
山口県	-	-	-	-	-	-	133	2.71	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	-	-	-	-	28	1.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	47	1.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	53	1.43	-	-	9	1.13	-	-	1	0.17	1	0.17
高知県	-	-	2	0.06	-	-	9	0.29	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	6	0.05	-	-	136	1.13	-	-	16	0.62	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	14	0.61	-	-	4	1.00	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	65	1.48	2	0.25	11	1.38	-	-	-	-	12	1.00
熊本県	-	-	9	0.18	-	-	81	1.65	-	-	28	3.11	1	0.07	-	-	5	0.33
大分県	-	-	9	0.25	-	-	130	3.61	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	-	-	49	1.32	-	-	10	2.50	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	2	0.04	-	-	167	2.98	-	-	8	1.14	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	196	5.76	1	0.10	11	1.10	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成18年7週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	-	-	357
北海道	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	5
福島県	3	0.43	-	-	13
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	10
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.07	-	-	40
兵庫県	-	-	-	-	25
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	40
山口県	-	-	-	-	26
徳島県	-	-	-	-	12
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	12
福岡県	-	-	-	-	31
佐賀県	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	15
熊本県	-	-	-	-	11
大分県	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	3

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年7週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第8巻 第7号 平成18年3月3日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。